

理事会の当日、お忘れにならないようご持参願います。

令和7年度 第2回 理事会・支部長会

日 時 令和7年8月27日(水) 午後2時00分

場 所 茨城県市町村会館 1階 講堂

次 第

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 報告事項

①連合会・関プロの報告について …… 資料1、資料2

②各委員会活動報告について …… 資料3

4. 議題

①令和7年7月末決算について …… 資料4

②会員増強運動の状況について(各自報告) …… 資料5

③ 納涼会の報告及び反省点について …… 資料6

④全国大会「大阪大会」について …… 資料7

⑤建築士会の主要な事業について …… 資料8

⑥その他

5. その他

6. 閉 会

第71回定例理事会

1. 日時 令和7年5月29日（木）13:30～16:30

2. 場所 建築会館ホール（WEB併用）

3. 出席者（敬称略）

【会場参加】

会長 古谷誠章（連合会）
副会長 佐藤幸吉（宮城） 上原伸一（神奈川） 濱田 修（愛知）
石黒時紀（岐阜） 岡本森廣（大阪） 佐名田敬荘（広島）
西菌幸弘（鹿児島）

参与 小野田吉純（連合会）
常務理事 日高頭一（連合会）
理事 高野壽世（北海道） 本間恵美（北海道） 飯田善之（青森）
風晴智順（青森） 大沼正寛（宮城） 柴 和伸（茨城）
丸岡庸一郎（埼玉） 久富清敏（千葉） 鷺海浩康（東京）
後藤 治（東京） 長谷見雄二（東京） 江口信行（長野）
伊藤公智（三重） 照田繁隆（石川） 森川清和（福井）
高田光雄（京都） 藏本和夫（山口） 井上正文（大分）

監事 米村博昭（奈良） 尾藤淳一（愛媛）
オブザーバー 牧田武一（大阪） 石貫方子（女性委員長）

【WEB参加】

理事 浦江真人（東京） 柿本章子（東京） 加藤史隆（広島）
藤岡 旭（香川） 本間里見（熊本）
オブザーバー 吉田浩司（青年委員長） 清水耕一郎（まちづくり委員長）
西田敦子（京都）

4. 欠席者

副会長 笹川 淳（東京）
理事 大月敏雄（東京） 杉浦泰輔（愛知） 櫻木耕史（岐阜）
山領 正（京都） 塩飽繁樹（岡山） 松崎和夫（大分）

5. 出席者報告

理事40名中 出席者 名

6. 議事録署名人

会 長 _____

監 事 _____

監 事 _____

7. 議 案

- (1) 令和6年度事業報告について (資料1)
- (2) 令和6年度収支決算について (資料2)
- (3) 第67回建築士会全国大会おおさか大会アピール文について (資料3)
- (4) 第69回建築士会全国大会かがわ大会の開催日程及び開催場所について (資料4)
- (5) 建築士会CPD規則改正について (資料5)
- (6) 旅費規程の改正について (資料6)
- (7) その他

8. 定款第23条第6項の報告事項について

- (1) 会長及び業務執行理事の職務執行状況の報告 (定款第23条第6項) (資料7)

9. 報告事項

- (1) 建築士会財政健全化検討TFの検討状況について (資料8-1、8-2)
- (2) 役員改選におけるブロック候補者推薦の推薦枠数の配分について (資料9)
- (3) 今後の全国大会の運営について (資料10-1、10-2)
- (4) まちづくり委員会・全国まちづくり会議に関する課題と対応について (資料11)
- (5) 次世代建築職能人材育成について (五会会長会議) (資料12-1、12-2)
- (6) 「建築士の日の事業」記念講演について (資料13)
- (7) 第34回全国女性建築士連絡協議会の案内について (資料14)
- (8) 各種講習会の実施状況について (資料15-1、15-2、15-3)
- (9) 建築物木材利用促進協定について (資料16)
- (10) 一級建築士の登録業務報告について (資料17)
- (11) 諸会議等および構成員の報告について (資料18)
- (12) 第20回木の建築賞について (資料19)
- (13) 今後の理事会・総会等の開催スケジュールについて (資料20)
- (14) その他

10. 次回(第72回臨時理事会)の開催について

令和7年6月17日(火) 16:00~16:10 (対面及びWEB開催)

第67回建築士会全国大会おおさか大会 大会宣言（案）

2025.04.17

海に面する大阪（大坂）は、江戸時代には天下の台所と呼ばれ、その水運を利用して物流・商業の中心地として栄えました。大正末期から昭和初期（1920年代～1930年代）にかけては大大阪と呼ばれ、日本最大の都市となり、商業・紡績・鉄鋼などあらゆる産業が栄え、文化・芸術・産業の中心として近代建築が華開くこととなります。1970年には「人類の進歩と調和」をテーマに大阪の千里丘陵で万博が開催され、77か国の参加のもと、6400万人を超える来場者を記録しました。

そして今年、2025年4月から10月まで開催される大阪・関西万博では、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、世界中から約2,820万人の来訪者を想定しています。また、（公社）全日本不動産協会との共催企画「ミライ REBORN スマイプロジェクト」では、2050年のスマイの可能性についてコンペ形式で広く世界中からアイデアを募り、入賞作品の中から2025年大阪・関西万博「大阪ヘルスケアパビリオン」において、メタバース上で展開します。

ここに、本大会のテーマを

建築からソーシャルデザインへ

と掲げ、次のとおりアピールします。

世界中からの注目が大阪・関西に集まる中、未来社会に対して建築士として何ができるかを広く社会にアピールします。現代社会に目を凝らし、広範な視点からその時代性・地域性を読み解きます。建てることに限定することなく、いまここで何が必要とされているのかを見極めます。人と人、人と建築、人とまちとの関係づくりを含め、様々なデザインを通して社会に貢献し、建築士という職能の射程を拡げます。社会課題に真摯に向き合いその解決策を見出すだけでなく、社会のあり方に対する新しい可能性を提示・実行することを目指します。

激変する社会が加速し、技術革新等で多様化する社会において、他分野の専門家や市民との連携・協働は欠かせません。各行政庁・団体とも連携・協力しながら、建築士と各分野の専門家と市民が「共に創る」未来社会を提示します。

第67回全国大会では、私たち建築士が、それぞれの郷土特性を踏まえ、未来社会のために取り組むべきことを共有し、誇りを持って力強く挑戦し続けていくという決意を、47都道府県建築士会会員同志とともに、次のとおり宣言します。

- 一 各行政庁や他分野の専門家と連携し、市民とともに、well-beingな未来社会を共創する
- 一 専門的知見と広範な視野を持ち、安全・安心なまちづくりと地域活性化の先導役を果たす
- 一 建築士の職能のレンジを拡げると共に、次世代を担う建築士が育つ環境づくりと会員の拡大を図る

令和7年4月9日

公益社団法人 日本建築士会連合会
会 長 古谷 誠章 様

一般社団法人 香川県建築士会
会 長 藤岡 旭



第69回 建築士会全国大会「かがわ大会」開催日・会場について（報告）

平素は中国四国ブロック会の各種活動に対しまして格別のご支援を頂き、御礼申し上げます。

さて、令和6年11月22日に開催された第2回中国四国ブロック会長会議において、
標題の件につきまして下記の通り承認されましたので、ご報告申し上げます。

記

開催日時 令和9（2027）年10月29日（金）

開催場所 式典会場：あなぶきアリーナ香川

香川県高松市サンポート6番11号

TEL：087-825-1313 FAX：087-825-1314

セッション会場：サンポートホール高松

香川県高松市サンポート2番1号

TEL：087-825-5000 FAX：087-825-5040

以上

【事務局】

一般社団法人香川県建築士会

事務局長 平尾 和律

TEL 087-833-5377

FAX 087-833-5394

建築士会財政健全化検討 TF の開催状況のご報告

○ **(第 3 回)** 令和 7 年 4 月 3 日 (木) 15:00～17:00

場 所 WEB 会議

出席者

建築士会財政健全化検討 TF メンバー

委員長 古谷誠章 (連合会会長・東京士会会長)

副委員長 上原伸一 (連合会副会長・神奈川士会会長)

委 員 高橋幸二 (北海道士会常務)、風晴智順 (青森士会事務局長)、助川義浩 (茨城士会事務局長)
石井隆司 (愛知士会副会長)、岡本森廣 (連合会副会長・大阪士会会長)
石貫方子 (大阪士会副会長、連合女性委員長)、吉田浩司 (鹿児島士会、連合青年委員長)
石川正 (沖縄士会専務理事)

事務局 小野田吉純 (参与)、日高頭一 (常務理事)、小林友和 (経理課長)

欠席 加藤史隆 (広島士会専務理事)

議題 1 全国一斉大規模アンケート結果のご報告 (暫定)

議題 2 これまでに議題に上がった士会連合会の課題 (各種講習会、会報誌「建築士」、「けんばい」) の検討状況のご報告

議題 3 5 月の理事会での報告を予定している「とりまとめ (構成案)」について

議題 4 今後のスケジュール等について (再掲)

○ **(第 4 回)** 令和 7 年 5 月 12 日 (月) 15:00～17:30

場 所 日本建築士会連合会 5 階会議室

出席者 (※:WEB 参加)

建築士会財政健全化検討 TF メンバー

委員長 古谷誠章 (連合会会長・東京士会会長)

副委員長 上原伸一 (連合会副会長・神奈川士会会長)

委 員 高橋幸二 (北海道士会常務)、風晴智順 (青森士会事務局長)、助川義浩 (茨城士会事務局長)
石井隆司 (愛知士会副会長)、岡本森廣 (連合会副会長・大阪士会会長)
※石貫方子 (大阪士会副会長、連合女性委員長)、吉田浩司 (鹿児島士会、連合青年委員長)
石川正 (沖縄士会専務理事)

事務局 小野田吉純 (参与)、日高頭一 (常務理事)、小林友和 (経理課長)

欠席 加藤史隆 (広島士会専務理事)

議題 1 建築士会財政健全化検討 TF 「とりまとめ (案)」

議題 2 TF 委員からの情報提供

○ **今後について**

第 4 回の TF において「とりまとめ」を行ったが、今後も 3 か月に 1 度の頻度で進捗をフォローアップしていくこととなった。

建築士会財政健全化検討タスクフォース・とりまとめ

2025年5月12日

1. はじめに

- ・建築士会財政健全化検討タスクフォース(以下、「TF」)で当初予定していた以下の内容については、全国の建築士会の協力の下、一旦、一定のとりまとめをすることができた。ただし、全国の建築士会・士会連合会において、これらのとりまとめを活かしていかなければ意味がないため、TFにおいて、継続的に、定期的なフォローアップを行っていく必要がある。

- ・会員増強等も含めた各建築士会の財政状況を健全化する各種施策を検討するTFを設置する。
- ・財政状況が好転した、もしくは好転の兆しがみられる建築士会の取り組み状況について、その要因やどの様に対応していったかまで含めて内容を分析し、パターン化した上で各建築士と情報共有を図る。
- ・TFにおいては、近年連続して赤字決算を計上し続けている連合会の財政健全化についても検討を行う。

- ・一方で、現在生じている会員減、財政難などは結果であり原因ではないため、上記のとりまとめだけでは、対処療法にとどまるものもあり、抜本的な課題解決には十分ではないと考える。会員減等の結果に至る、より根本的な原因は何なのか、それを探るために、改めて建築士・建築士会・士会連合会の存在意義を再認識して、今後、活動を継続し、さらなる存在意義を発揮するために何が必要なのかを、これを契機に、みんなで考えていただきたい。そのために、次の<2. 背景>に、参考に存在意義についてまとめてみた。
- ・また、今回の成果を、<3. とりまとめ方針>と<4. とりまとめ(具体的な取組み)>に整理したので、是非、参考資料とともに、全国の建築士会・士会連合会において、活用いただきたい。
- ・今回のTFでは、時間の制限もあり、一応のとりまとめは行ったが、今後、新たな提案があれば追加して検討を進める。

2. 背景

- ・建築士会・士会連合会ともに、喫緊の課題は会員減等による財政悪化であり、そのための財政健全化は、早急に取り組むべき事項になっている。
- ・しかし、そもそも、財政健全化するのは何のためなのか？財政健全化して存続させるべき、建築士・建築士会・士会連合会とは何なのか、その存在意義を以下のように改めて整理してみた。

○建築士とは？(存在意義)

- ・建築士は、建築物の設計・工事監理の業務を独占する唯一の国家資格を持つプロフェSSIONALである。特に近年、頻発化、激甚化している災害への対応、深刻化が増す環境問題、諸技術の高度化など、時代が変化し複雑化していく中で、国民の生活に欠かせない建築物の安全性や快適性を確保する重要な役割を担っている。

○建築士会とは？(存在意義)

- ・上記の建築士制度は、安全で快適な国民生活に不可欠な重要な役割を担うがゆえに、耐震偽装問題を例に挙げるまでもなく、建築士に対する国民や社会の十分な理解と支持が不可欠である。その理解と信頼を得るには個々の建築士の相当の努力は勿論であるが、すべての建築士の緊密な連携と相互の研鑽が加われれば、さらに、理解と信頼の獲得ができるようになる。

- ・そのことから、1950(昭和25)年7月に建築士法が施行された後に、各都道府県の建築士会が設立された。建築士に対して、業務に必要な知識及び技能の向上を図る建築技術に関する研修が行われ、現在まで、会員同士の連携による地域貢献活動、委員会活動、情報発信などを行い、さらに災害時には被災地への協力なども行うことにより、一定の社会的認識を得てきている。
- ・また、建築士会は、設計・工事監理者のほか、施工者、住宅産業、教育、行政などの様々な分野の会員で構成されることから、立場を超えた会員同士の連携・交流が大きな強みとなっている。
- ・ちなみに、全国の建築士会員に対するアンケート(令和5年6月実施、第65回建築士会全国大会「しずおか大会」報告)では、<建築士会に入会して良かったことは何ですか？>という質問に対して、『人脈ができた』、『仲間ができた』、『建築の様々な情報が得られる』、『仕事とは違う活動ができる』、『地域貢献ができる』と多くの回答があり、建築士会の活動への積極的な参加の必要性や意義が確認できる。
- ・なお、建築士会に入会するメリットとしては、次の様に考えられる。

- ・建築士会活動に参加することにより、建築技術に関する貴重な情報が得られ業務に活かすことができる。(講習会・イベントへの割引参加等)
- ・委員会活動等において、様々な分野の建築士会員同士の連携と交流により、社会貢献や自己研鑽を図ることができる。
- ・社会的信頼を得ることができる。(専攻建築士制度、会員証や会員章の交付等)
- ・建築士会の信頼の上で独自の賠償責任保険に加入ができる。 …

○士会連合会とは？(存在意義)

- ・単独の建築士会では実現できない成果をあげるために、全国の建築士会から構成される士会連合会が1952(昭和27)年に設立された。士会連合会においては、全国規模で、各建築士会の活動を補完し、建築士に対しては、その業務に必要な知識及び技能の向上を図る建築技術に関する様々な研修、さらに、各建築士会・会員が連携して、全国規模での青年・女性、まちづくり委員会活動、情報発信などを行い、都道府県境を超えて災害時支援なども行うことにより、建築士の社会意義を高めてきている。
- ・以上のように、建築士会・士会連合会は、建築士制度に対する国民や社会の理解と信頼を得るという大きな目的のため、耐震偽造問題、東日本大震災等の厳しい局面を乗り越えて、さまざまな改善を続け、日々の活動を行ってきた。これらの長年にわたる活動を通じた国民からの理解と信頼を得て、日本社会が抱える諸課題(災害の激甚化、環境問題、少子高齢化、都市への一極集中/地方の過疎化など)の解決に対して、今後も、その活動を続けることが日本のために不可欠と考えられる。
- ・しかしながら、近年、建築士会・士会連合会が、会員減等により財政状況の悪化が続き、その存続が危ぶまれている現状である。さらに、会員減による活動規模の縮小等も発生し、国民からの認識が薄れてきているという問題も生じている。

3. とりまとめ方針

- ・そこで、建築士会・士会連合会が存続して、国民生活に欠かせない建築物の安全性や快適性を確保するという建築士の社会的使命をさらに発揮し続けるためには、まずは、その活動基盤となる財政難の解決が必要である。そのために、建築士会・士会連合会ともに会員増等の収入拡大と、経費節減の取組みがともに必要となっている。なお、会員増のためには、その存在意義に基づいた建築士会・士会連合会の魅力アップ・会員の満足度アップが不可欠であり、経費節減一辺倒となって、存在意義や魅力そのものを失うことのない様に適切なバランスが必要となる。

- ・昨年12月からスタートしたTFにおいては、建築士会・士会連合会の財政等のそれぞれの課題を明らかにし、財政健全化のために、ヒアリング・アンケート調査や何が出来るかの議論、実践すべき具体的な取組み等、幅広い意見をいただいた。
- ・これらの意見を踏まえて、具体的に取組みを進めるに当たって、<4. とりまとめ(具体的な取組み)>において、建築士会が参考にできる取組み、士会連合会の取組みに整理した。

4. とりまとめ(具体的な取組み)

(1) 建築士会が参考にできる取組み

- ・今回のヒアリング、アンケート調査の結果など、建築士会の財政健全化に資する有用な情報を共有する。なお、他の建築士会の取組みを表面上だけ見做っても成果をあげられないことは自明であるから、その背景を含めて建築士会同士の密な情報交換が重要であることに留意していただきたい。
 - ・東京建築士会などの先進的な取り組み、また、財政的に健全なくつかの建築士会にヒアリングを行った(参考資料1参照)
 - ・会員減少率が少ない建築士会へのヒアリングを行い、その要因としては、以下の事項があげられる。(参考資料2参照)
 - －行政団体との連携
 - －CPD・経営事項審査の効果的活用
 - －準会員の入会促進
 - －各種委員会活動の活性化
 - －支部活動の活性化 等
 - ・また、全国の建築士会における財政健全化に資する取組みについて、以下の項目について情報収集した。(参考資料3参照)
 - －会員増強への取組み
 - －会員サービスへの取組み
 - －各種講習会受講者増強への取組み
 - －CPD・専攻建築士制度への取組み
 - －「けんばい」PR への取組み
 - －行政との関わりについての取組み
 - －他団体との連携による取組み
 - －本部、支部活動での取組み
 - －建築士会の認知度 UP への取組み
 - －IT 活用の取組み
 - －新規事業への取組み
 - －経費節減への取組み 等
- ※参考資料として、第1回から3回までのTFで配布した資料のうち、各建築士会の参考になる資料(建築士会へのヒアリング結果、全国一斉大規模アンケート結果等)を添付

(2) 士会連合会の取組み

- ・以下のように、士会連合会が率先して主体的に進めることと、(建築士会が主体となるもの)士会連合会が支援するために進めることを整理し、できるものから士会連合会の所管する委員会等で検討を進めていただきたい。

① 士会連合会が率先して主体的に進めること

1) 短期的な取組み

- i) 各種講習会の見直し
 - ※別紙1参照
- ii) 「けんばい」の加入者促進
 - ※別紙2参照
- iii) 建築士免許証明書申請手数料の見直し

iv)その他

- ・予算編成での厳格な査定など、業務の棚卸し

2) 中長期的な取組み

i) (機関誌「建築士」のWEB化・隔月化を含む)情報広報の見直し

※別紙3参照

ii) 連合会会費の見直し

iii) 各種講習受講者の業務の拡大の働きかけ(ex. 既存住宅状況調査講習)

iv) その他

- ・専攻建築士制度、建築士試験のあり方などを検討
- ・建築士の全国的なアピール手法を検討
- ・全国大会の開催のあり方について検討

② (建築士会が主体となるものの) 士会連合会が支援するために行うこと

1) 先進的な取組みの情報共有

- ・新入会員による<建築士会で取り組みたい事業>アイデア募集

2) 各建築士会・ブロック間の交流の促進

- ・災害時の協力に係るブロック間の交流

3) 各建築士会・ブロックの共有課題の解消

- ・(例えば、デジタル環境など) 単独の建築士会では対応困難な事項の解消

5. 今後のフォローアップ

- ・3か月に1回を目途に開催し、上記の具体的な取組みの進捗状況をフォローアップして理事会に報告を予定

以上

東京建築士会ヒアリング/メモ

日時:2024年11月13日(水)10:00~12:00

場所:東京建築士会会議室

先方:鴛海専務理事、笠木事務局長、梅津主幹

当方:日高常務、小林課長、小野田

前提:会員が東京士会に所属して良かったと思われるような環境や講習会を提供していくことが重要であり、その為に会費値上げを行いますというスタンスが必要と事務局で判断し、正副会長会議や総務企画委員会です承を得た(会費値上げは目的ではなく会員サービス向上のための手段)。

会員数・収支状況の推移

<会員数>

- ・会員数は10年前の5,900名から直近では4,800名と2割近く減少している。
- ・会員の年齢構成も10年前と比べ40代が21%→16%、70代が10%→20%と高年齢化している(30代は6%→4%と微減)。
- ・正会員の職種の比率では、建築士事務所が最も多いのは変更なし。10年前と比べて「建設業」「工務店」「官公庁」などの設計事務所以外の他業種の割合が減少傾向にある(大手ゼネコンや大手設計事務所は会費を会社負担としているためか、さほど減少していない)。
- 今後の既存建築物のリフォームの増加を考えて、建設業、工務店、インテリアコーディネーターなどへの賛助会員勧奨を行っていくべきとの方向性。
- ・新規会員の入会動機で一番多いのが、「けんばい」(半数程度)であり、入会動機または退会の一定の抑止力となっている。(事務所協会・JIAより比較的安価)
- ・入会動機で2番目3番目に多いのが、「最新情報の収集」「勉強会・講習会等への参加」(3割程度)であり、今後も会員への情報発信等に力を入れていく方針。一方で退会理由は高齢での業務廃止が大半であり、一度入会すると継続する会員が多い。

<収支状況>

- ・コロナの影響で令和2年度より収支差額の赤字が続いている。
- ・定期講習・建築士試験に係る事業収入が10年間で半減している。
- ・職員数は最大15名から現在8名に減少してきている。

会費値上げ

- ・数年前から検討を重ね、会員専用のデジタルプラットフォームの開発など会員サービスの拡充と合わせ、令和7年度より、正会員会費を18,000円→24,000円、賛助会員費を24,000円→36,000円へと値上げする。
- ・各士会の値上げ後の会員数の推移を見ても、極端に会員数が減少している士会はみられない。(自然減程度に納まっている)

最近の財政健全化に資する取り組み(会員サービスの拡充(検討中))

○年齢割引制度

- ・70歳以上の正会員は、会費から2000円割引
- ・40歳未満の正会員は、会費から4000円割引(40歳未満は年齢構成率が低いため大幅に割引しても大勢に影響ないと判断)

○バウチャー制度(導入予定)

- ・正会員へセミナーなどで使用出来る、1000円×4枚(4000円分相当)のバウチャーを付与予定。

※デジタルプラットフォームでの運用が前提

○会員専用のデジタルプラットフォーム(アプリ等)の開発

- ・デジタルプラットフォームから東京士会HPに誘導させる。
- ・東京士会専用アプリの開発により、会員へ最新の情報などを携帯のプッシュ通知などにより届ける。
- ・また東京士会のHPへのアクセスがスムーズになり、利便性向上と共に各種手続きの事務負担の軽減にも寄与。
- ・ビジネス用LINEアプリによる迅速な情報発信も導入予定(現在試験導入段階)
- ・デジタルプラットフォームは会員外(ex.入会検討者、賛助会員企業所属の社員等)の使用も想定。
- ・導入コストは約200万円、年間維持費は約180万円。

連合会誌の扱いなど

○会報誌「建築東京」の合併号実施について(令和5年度から実施済)

- ・昨今の物価高等による会報誌の制作費増加や、コロナ禍以降の広告収入の減少などにより、会報誌の合併号実施の検討を2021年度より開始し、古谷会長の指示のもと当初は2か月に1度(隔月)の発行を想定したが、結果的に3か月に1度の発刊(季刊誌)とする形で令和5年度より本格導入。
- ・3か月に1度の季刊誌とすることにより、ページ数を増やし内容の充実化を図っている。
- ・季刊誌となることで、広告収入は年間300万円程度減る一方で、会報誌の作成費は年間500万円程減少している。
- ・広告収入を入れても収支は赤字(令和5年度年度で▲40万円)だが、会員サービスの一環としてやむを得ないと考えている。
- ・印刷・製本は広告代理店により三社見積合わせを行っている。

以上

令和 6 年度建築士会全国一斉大規模アンケート集計結果

令和 7 年 2 月 17 日～3 月 14 日にかけて、各都道府県建築士会における財政健全化に資する取り組みをリサーチすることを目的にアンケートを実施いたしました。

<アンケートの実施概要>

- 名称: 令和 6 年度建築士会全国一斉大規模アンケート
- 期間: 令和 7 年 2 月 17 日(月)～令和 7 年 3 月 14 日(金)
- 対象: 各都道府県建築士会の会長及び事務局長
- 設問数: 全 46 問
- 内容: 各都道府県建築士会の各種講習会への取り組みや「けんばい」加入促進への取り組み、また会員増強策、経費削減策を含めた総合的な財政健全化策

<アンケート結果のとりまとめ>

アンケートの結果を、分類別にまとめましたので下記の通りご報告いたします。

○数値データの集計結果

会員情報などの各種数値データをまとめましたのでご報告いたします。

※全てのデータは令和 6 年 12 月末現在のもの

1) 年代別及び性別の会員数

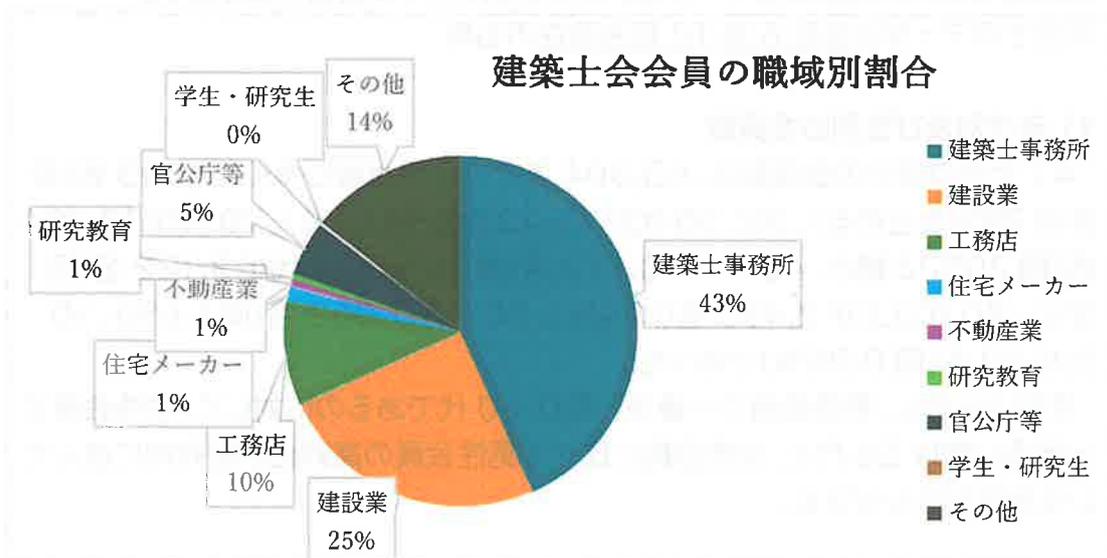
47 士会の合計の会員数は、63,304 名で 60 代が最も多く 17,793 名(全体の 28%を占める)、次に 50 代が 15,432 名(同 24%)、70 代が 13,194 名(同 20%)と続き、40 代が 10,172 名(同 16%)、30 代が 3,122 名(同 5%)、80 代以上が 2,490 名(同 4%)、20 代が 1,062 名(同 1.6%)、10 代が 39 名(同 0.06%)であった。

性別で見ると、男性会員で一番多い層は 60 代であるのに対して、女性会員で一番多い層は 50 代と、女性会員に比べて男性会員の高齢化が相対的に進んでいる状況がうかがえる。



2) 会員の職域別割合(有効回答数:27 士会)

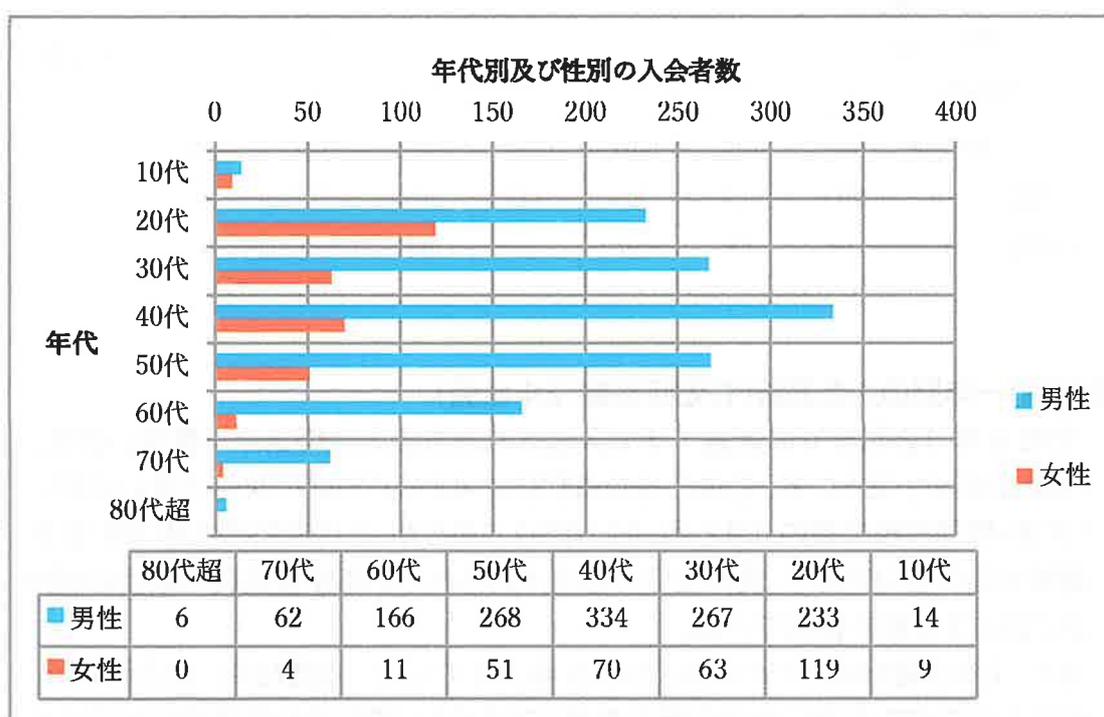
会員の職域では、「建築士事務所」が一番多く43%を占め、次いで「建設業」25%と、この2つで全体のおよそ70%弱を占める。茨城士会のように、行政職員の会員への取り込み強化や、愛知士会のような学生へのアプローチなど、他業種の割合を増やす取り組みも今後必要になるものと思われる。



3)年代別及び性別の入会者数(有効回答数:45 士会)

令和 6 年 12 月までの過去 1 年で入会した会員数の合計は 1,677 名であり、40 代の入会が 404 名(全体に占める割合は 24%)と最も多い、次いで 20 代が 352 名(同 20%)、30 代が 330 名(同 19%)と続く。

性別で見ると、男性会員で一番入会の多いのが 40 代である一方、女性会員で一番入会の多いのが 20 代であり、子育て世代前という要因もあるかもしれないが、このような若年層の入会が、男性会員より女性会員の方が相対的に若年層が厚い要因となっている。

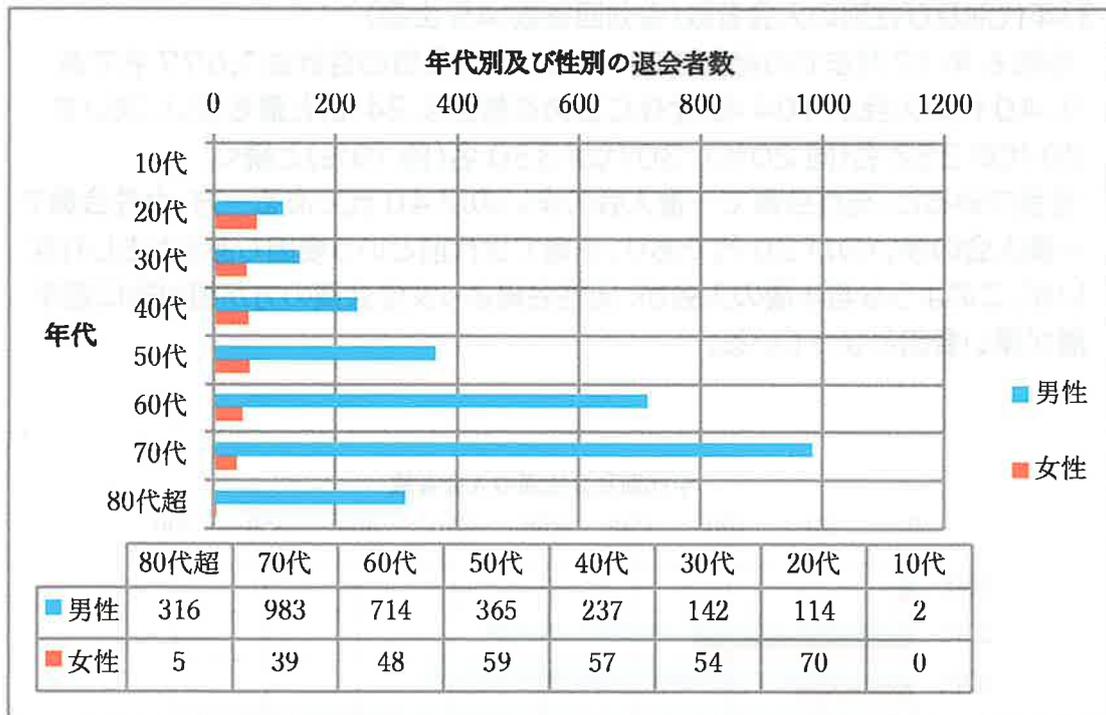


4)年代別及び性別の退会者数(有効回答数:44士会)

令和 6 年 12 月までの過去 1 年で退会した会員数の合計は 3,205 名であり、70 代の退会が 1,022 名(全体に占める割合は 31%)と最も多い、次いで 60 代が 762 名(同 23%)、50 代が 424 名(同 13%)と続く。

やはり、仕事を辞める方が多い 70 代での退会が全体の 3 割を超え、この世代の会員が士会に残る動機であったり、役割を与えることが重要である。

また、女性会員の退会者で一番多い年代は 20 代 70 名(女性会員全体に占める割合は 21%)であり、20 代~40 代の合計では 181 名と全体の 54%を占め、子育て世代でも参加のし易い活動の在り方を模索する必要がある。



5)直近一年間の入会経路(有効回答数:24 士会)

令和6年12月までの過去1年で入会された方の入会経路で一番多いのは、「知人の紹介」(264名、全体に占める割合は41%)であり、次いで多いのが、「大学・専門学校の案内」(92名、同14%)であるが、この回答の大半88名が愛知士会のものであり、愛知士会で力を入れられている学生会員の勧誘の結果がこのような形で表れている。

また、「総合資格経由での入会」が(46名、同7%)と一定数おり、総合資格経由で入会された会員に士会の魅力を感じてもらい、講習会や委員会などのイベントや行事にも参加いただき、建築士会の会員としていかに定着してもらうかが今後の課題となる。

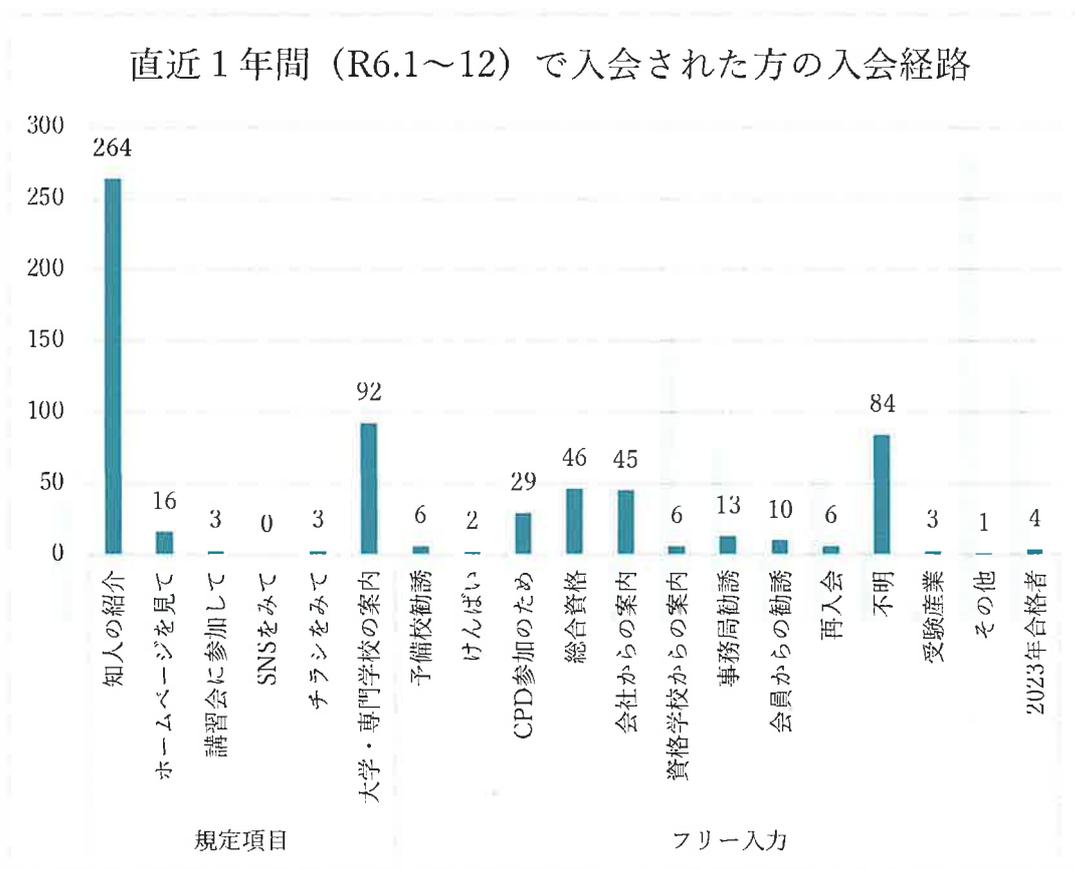
その他、「会社からの案内」(45名、同7%)もほぼ同数であり、会社が年会費を出して、社員を建築士会の会員に入会させるケースもある一定数見受けられます。それに関連してか、次に多いのが、「CPD参加のため」(29名、同4%)であり、経営事項審査などで建築士会CPDが加点対象になっているケースなどでは、CPD目的での入会も多く見られる。

そのようなことから、会社にとって、自社の社員を建築士会に入会させる動機としてCPD以外にも技術の研鑽や情報の発信強化により、更なる建築士会の魅力UPを図っていく必要がある。

このように、建築士会への入会経路は、「知人の紹介」や「会社からの案内」が大

半を占めており、人と人とのつながりで成り立っている側面がある一方、現代にあったPRや周知の仕方も模索する必要がある。

たとえば、「ホームページを見て」(16名、同2%)、「SNSを見て」にいたっては0名と、ネット経由での入会が極端に少ない現状が浮き彫りとなっている。今後、SNSであったり、現在手薄になっているPR方法に対して、積極的に取り組むことで、今までアプローチ出来ていなかった若年層の会員獲得に寄与するものと思われる。



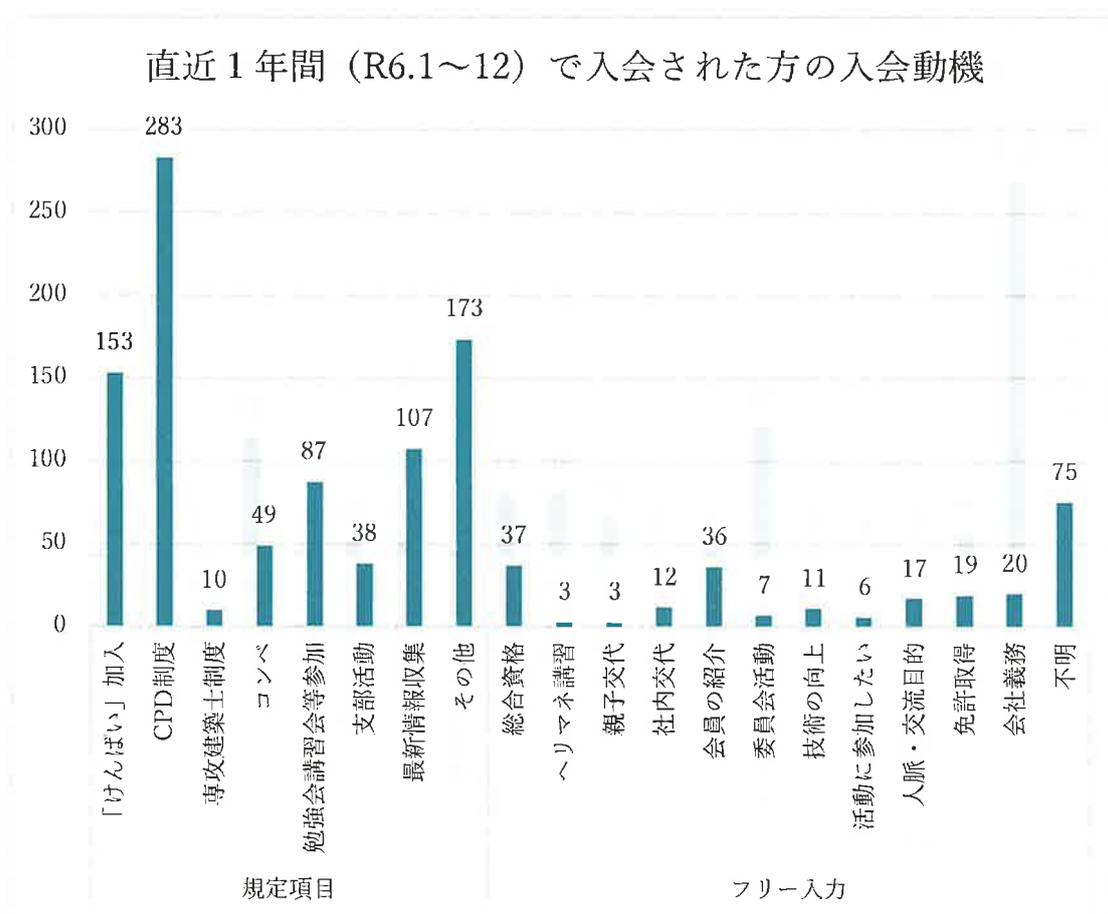
6)直近一年間の入会動機(有効回答数:26 士会)

令和6年12月までの過去1年で入会された方の入会動機で一番多いのは、「建築士会CPD制度」(283名、全体に占める割合は24%)であり、現在、建築士会への入会動機として最も上位となっている。

次いで多いのが、「けんばい」加入(153名、同13%)であり、そのうち大半の116名が東京士会である。その他近畿圏で「けんばい」加入を動機とする入会が多い傾向がある。今後「けんばい」は、建築士会への入会よりも一層強力な動機となり得ることから、新チラシによる「けんばい」の更なるPR、また、今後事務所の

廃業が増えていくことを考えると「勤務建築士けんばい」の需要も高まることが予想され、それらの広報に力を入れていくことは、会員増に寄与するものと考えられる。

また、入会の動機として、「最新情報収集」(107名、同9%)、「勉強会・講習会等への参加」(87名、同7%)が上位であることから、最新情報、技術の研鑽への期待が大きいことがうかがえる。今後、SNS や LINE アカウントからの最新情報の発信や、WEB 講習で手軽に受けられる魅力ある講習会の更なる充実が期待される。



7)直近一年間の退会動機(有効回答数:40 士会)

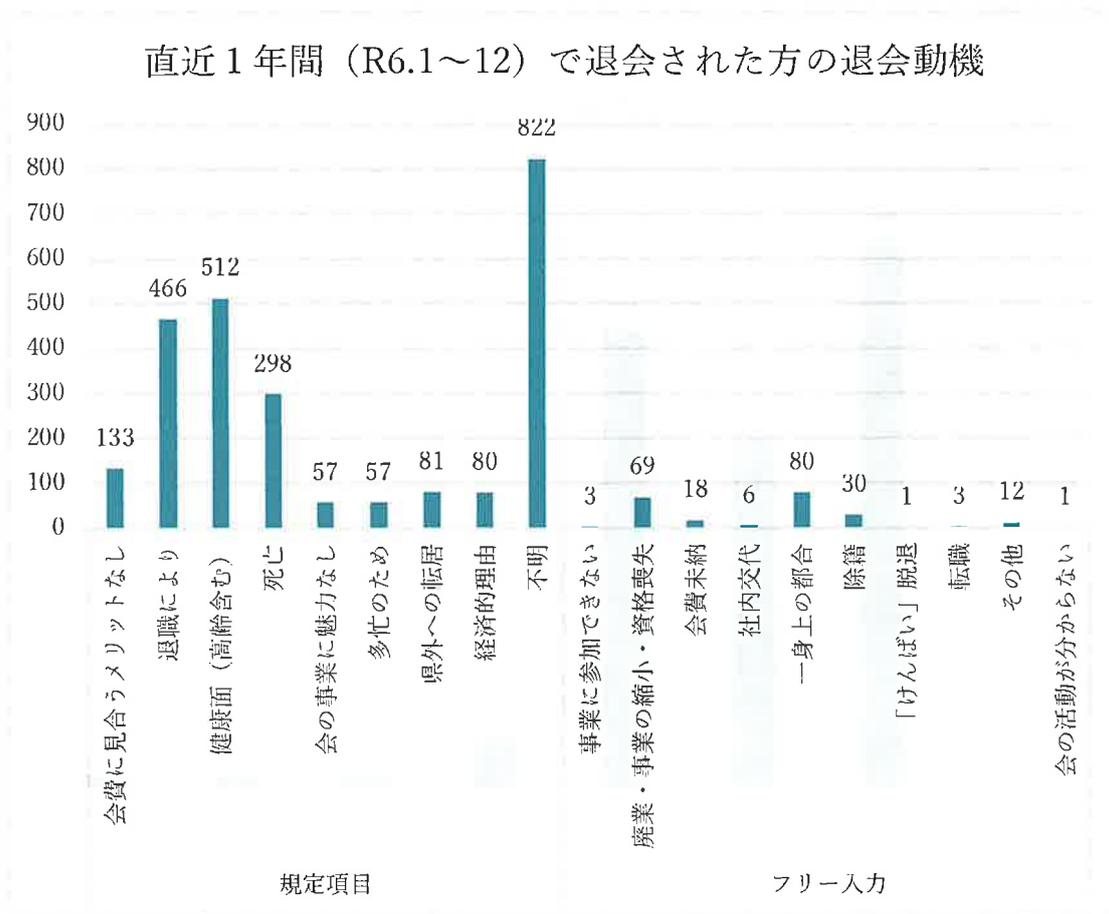
令和6年12月までの過去1年で退会された方の退会動機で一番多いのは、「健康面」(512名、全体に占める割合は18%)であり、類似の「死亡」(298名、同10%)と合わせると、全体の3割近くを占める。これは現代の少子高齢化が主因であることから、どうにも出来ないものであり、残りの7割の退会動機について考えて行く必要がある。

次いで多いのが、「退職により」(466名、同17%)であり、仕事を退職された会

員の受け皿的な、活動の場やコミュニティの形成が必要である。

また、次いで多いのが、「会費に見合うメリットなし」(133名、同4%)、「会の事業に魅力なし」(57名、同2%)のような建築士会の魅力不足である。

実は、最も多い回答は、「不明」(822名、同30%)であり、「健康面」や「退職」など分かりやすい理由以外の方が「不明」に多く含まれていることを考えると、「不明」のうち、ある一定数は、建築士会の魅力やメリット不足が含まれものと考えられる。今後より一層の建築士会の魅力づくりに力を入れ、取り組んでいく必要がある。



8) 会費の値上げ予定

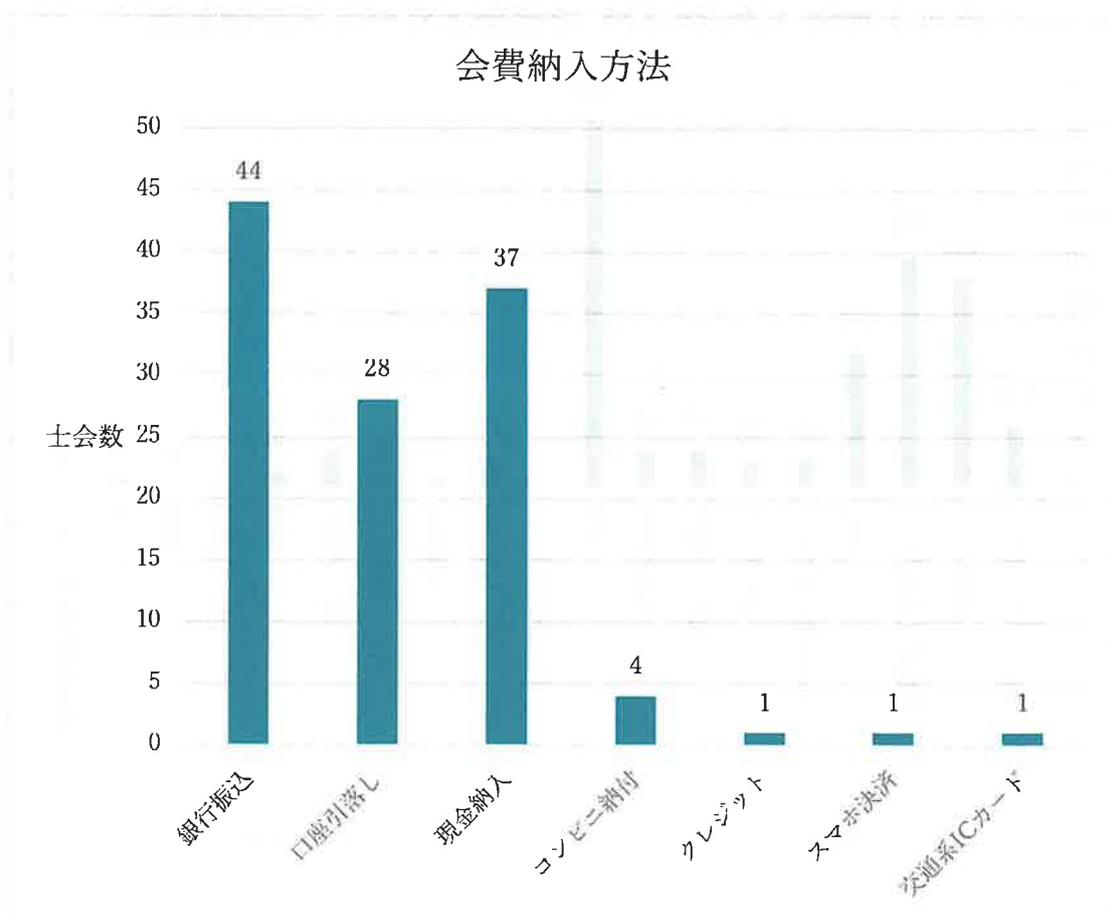
まず、直近10年で値上げを行った士会数は、23士会であり、今後値上げを実施する士会は、2025年度で5士会(青森、福島、千葉、東京、長崎)、2026年度では5士会(北海道、茨城、島根、岡山、徳島)、2027年度では1士会(埼玉)であり、ここ2、3年で2割以上の士会が会費の値上げを実施予定である。

9)会費の納入方法(複数回答含む)

会員から建築士会への会費の納入方法で一番多いのが、やはり「銀行振込」(44士会、全体に占める割合は93%)である。次いで、「現金納入」(37士会、同78%)、「口座引落し」(28士会、同59%)と続く。多くの士会で、上記3つを併用している状況である。

少数意見として、「コンビニ納付」(4士会、同8%)は、北海道士会、東京士会、神奈川士会、沖縄士会で導入している。

「クレジット」、「スマホ決済」、「交通系ICカード」は、全国で神奈川士会のみ導入となる。



10)支部会費の割合(有効回答数:34士会)

会員からいただく年会費のうちで、支部会費の占める割合は、全国平均26.8%であり、最大で50%、最小で10%であった。

○自由筆記の集計結果

各カテゴリー別に、自由筆記でご回答いただいたものについて、まとめましたのでご報告いたします。

1)会員増強への取り組み(設問 No.30~35)

準会員の獲得では、幹部が大学、高校などに訪問してPRし、関心のあるイベント等を企画したり、会費等の割引を行っている。

愛知士会では、各支部から大学等に働きかけを行い、学生会員を増やしており、中には愛知士会の活動に参加すると単位が取れる大学もある。また、青年委員会の中に学生部会を設置し、学生に活動の場を提供している。

若手会員の獲得では、多くの士会で、建築士合格祝賀会、免許交付式などで入会の案内をされたり、青年・女性委員による取り組み、若い建築士に関心のありそうなイベントを企画されたり、その他に「設計製図の試験」受験者を対象とした見学会・勉強会などを開催されている。

賛助会員の獲得では、多くの士会で、幹部等が積極的に地元企業等に声掛けをされており、懇親会へ招待しコミュニケーションの場を提供したり、ホームページ、機関誌での広報掲載の割引などの取組みを進めている。

施工管理技士の獲得では、施工関係の会社に向けて、経審加点のメリットであるCPD取得について、施工管理技士でも準会員なら入会できること、建築士会の監理技術者講習の受講で年間18単位、また会誌「建築士」で年間12単位が容易に取得できることをPRされている士会がある。

鳥取士会では、県の総合評価入札においてCPD制度が加点対象になったことより、施工管理技士の会員が4倍になった。

茨城士会では、県庁職員の会員率がほぼ100%であり、現在、市町村職員の獲得に力を入れている。

その他、免許証明書の交付時での声かけ、SNSの活用、CPD制度の周知による勧誘、工業高校における出前授業等々、各建築士会とも地域の実情を踏まえての取組を行われていますので、他士会様においても参考になる事項があるかと思われる。

一方で退会抑止策では、高齢者会員の会費減額・免除等、シニア委員会での活動など、主として高齢者向けの対策が行われている士会がかなり多い。

香川士会では会員に対して、古希と喜寿のお祝い(3000円程度の記念品)を贈っている。

静岡士会では、60歳以上の横の繋がりを目的とした「師志会」を設立し、清掃などのボランティア活動や交流会等を実施し、集まる機会を作り活動している。

2) 会員サービスへの取り組み(設問 No.36)

それぞれの士会において、メールマガジンの発行、法律相談の実施、CPD の優遇、書籍の割引販売等を実施している。

神奈川士会では、会員への福利厚生として、飲食店の割引、医療機関による人間ドックの割引、横浜高島屋の優待券による 5%割引などを行っている。

また東京士会では、公式アプリを開発し、入会などの手続きの簡素化や会員証のデジタル化、公式 LINE アカウントからのプッシュ通知による最新情報の配信などを行っている。

埼玉士会では、会員サービスの一環として、指定確認検査機関(UDI、埼玉検査センター)の確認申請手数料の割引(2,000 円)を行っている。

北海道士会では、賛助会員であるオフィス文具等を扱う企業と団体契約をし、会員向けに事務用品(文房具)を特別価格(30%OFF)で提供している。

3) 各種講習会受講者増強への取り組み(設問 No.23~26)

定期講習では、多くの士会で、ホームページ、会員へのメール、講習会等での周知をされている。また、対面講習を特にお勧めされ、また受講者が参加しやすいように講習会場の場所、DVD 活用などの工夫をされている士会もある。

千葉士会では、受講者に対して交通費の補助として「一律 2,000 円」の補助を行っている。

監理技術者講習では、多くの士会で、ホームページ、会員へのメールでの周知をされている。また、受講者が受講しやすいように実施曜日を固定する工夫をされたり、出張講習も含めて、建設会社・工務店等への周知をされている士会もある。

既存講習では、多くの士会で、ホームページ、会員へのメールでの周知をされている。また、あわせて、既存住宅状況調査技術者の活用に関する意見も複数あった。

その他講習会の取り組みとして東京士会では、(公財)建築技術教育普及センターが提供している、インターネットを利用した建築教育に係る動画の配信を行うことが出来る「建築教育動画配信システム」を利用し、有料動画配信をすることにより講習会収入を得ることを行っているようです。(※普及センターへの手数料は、視聴料の 22%、または 510 円(税抜)のどちらか高い金額)

また、広島士会では、ドローン講習会(座学 3 時間、体験操縦 1.5 時間(交代制)、CPD3 単位)を実施し、毎回満員御礼の大盛況とのこと。

神奈川士会では、講演会やセミナーなどを開催する際のスムーズな運営、また集客や参加費のオンライン決済を導入するために、令和 5 年度より、Web上のイベント管理システム「Peatix(ピーティックス)」を活用している。

4)CPD・専攻建築士制度への取り組み(設問 No.16~17)

CPDについては、チラシを作成して、講習会で配布されたり、施工会社等団体に周知されたりしている士会は複数あり、その他もさまざまな取り組みをされている。

専攻建築士制度については、特段の取り組みをされていない士会も多いが、パンフレットを活用されたり、更新対象者に案内される士会が複数あり、その他もさまざまな取り組みをされている。

北海道士会では、「北海道建築士会専攻建築士制度補助金制度」を設け、講演会や寄稿などした際に、名前の肩書に「〇〇専攻建築士」と入れると、1件5,000円を上限に補助を行っている。

5)「けんばい」PRへの取り組み(設問 No.18~21)

多数の士会が、チラシ・パンフレットを士会事務局窓口、総会・講習会等での配布、会誌に同封するなどの活用をされている。また、総会、理事会等で普及の呼びかけをされている士会があり、保険会社による勉強会を実施されている士会もある。

なお、東京士会では入会動機の約半数が「けんばい」目的であり、入会増・退会抑止に寄与している。

6)行政との関わりについての取り組み(設問 No.27~28)

多くの士会で、会長、役員、事務局などが首長を含む行政団体(建築部署以外、林務、環境関係も)に訪問されている。また、行政団体とは、訪問だけでなく、意見交換や士会員である行政職員との情報交換を行われている士会もある。

大阪士会では、岡本会長就任以来、大阪府下43市町村を12回ずつ訪問している。また、行政への委員派遣(会員)を行い、行政より士会に対して事業(市所有の建築物の耐震診断、マンション改修事業、ヘリテージ事業、空き家対策事業等)の依頼がある。

7)他団体との連携による取り組み(設問 No.42)

設計三会で集まって行事を行っている士会が複数ある。その他にも不動産鑑定士協会(東京士会)、弁護士会(京都市会)等との協働事業もあり、また建築物木材利用促進協定を締結している関係から県や木材利用団体と協働している士会もある。

8)本部、支部活動での取り組み(設問 No.40~41)

本部の取り組みでは、各士会ともそれぞれ人気のあるイベント等があり、複数の士会で「法律の改正講習会」という回答があった。

また、多くの士会でコンパなどの顕彰事業を開催したり、著名な建築家を招いての講演会などを行い、会員・非会員問わず多くの方が参加できるイベントなどに取り組んでいる。

スポーツで多いのが、ゴルフとボーリング大会であり、今の若者に参加しやすいイベントも今後期待される。

支部の取り組みでは、本部活動と比較するとよりレクリエーション的要素が強くなっており、まち歩きやバス研修旅行、蕎麦打ち体験、釣り、スキーなど多岐に渡る活動をされている。また、地域のお祭りや学校での出前事業など地域に根差した活動も目立つ。

今後、建築士以外にも、食や陶芸、生け花など他分野のプロフェッショナルに触れる体験イベントなどがあると知見が広がり、有意義な建築士会の活動になるものと思われる。

滋賀士会では、会員家族を対象とした、交流事業(BBQ や旅行等)を実施しており、多くの会員とそこご家族に参加いただいているようです。

9) 建築士会の認知度 UP への取り組み(設問 No.43)

建築士会の法被を着ての地域の清掃活動や地域のお祭りへの参加、また、建築相談ブースを設ける活動など、各士会で様々な取り組みを行っている。

福井士会(その他複数の士会も回答)では、地元テレビ局主催のリレーマラソンに青年部が参加し、建築士会のPRを行っている。

滋賀士会では、士会のホームページ上にて「滋賀士会の紹介動画」を公開しているが、動画の作成に「お絵かきムービー」を採用され、心温まり、地域のエンドユーザーに対して、寄り添うような作りになっている。

神奈川士会では、西沢立衛氏、山本理顕氏、石上純也氏など著名な建築家を講師に迎え講演会を開催しており、学生や会員外の参加も多く建築士会のPRにも繋がっている。

10) IT 活用の取り組み(設問 No.37)

多くの士会が青年委員会、女性委員会で Facebook や Instagram を使って情報発信を行っている。また、オンラインによる会議の実施で経費節減を図っている士会も多い。東京士会での公式アプリの取組は他士会においても参考になるかと思われる(再掲)。

11) 新規事業への取り組み(設問 No.38)

回答があった士会はそれほど多くなかったが、オンラインコンテンツの有料配信サービス(再掲、東京士会)、一般市民を対象とした有名建築を含むまち歩き(神奈

川士会、長崎士会)等を行っている。

青森士会では、日本住宅品質検査センターの「非住宅建築物の瑕疵保証業務」を令和7年度より実施予定。

12)経費削減への取り組み(設問 No.29)

多くの士会で、印刷物のデジタル化、印刷発注の見直し、会議のWEB化、交通費の削減等の取り組みをされており、その他もさまざまな取り組みをされている。

香川士会では、毎年家賃交渉をして数%ずつ賃料を引き下げている。

愛知士会では、県からの指導で、2年連続の赤字を出したものは、事業見直しの対象にしている。

佐賀士会では、理事会の回数を1回減らし、年3回の開催としている。

13)その他財政健全化への取り組み(設問 No.39)

愛知士会と三重士会は収入に見合った事業支出をする努力を行っている。また、タスクフォースや部会を立ち上げて検討している士会もある。その様な対応を行いつつ、複数の士会では会費値上げを検討している。

茨城士会では、定期的に県や市町村の補助金で対象になりそうなものが無いかチェックをし、建築とは関係の無いスポーツ振興の助成金などを活用し、会員のスポーツ大会の原資に充てるなどしている。

14)今後の課題や困りごと・連合会への意見(設問 No.44、46)

会員減少に伴い、多くの士会において財政が厳しくなっている。職員の確保を課題としてあげる士会も複数あり、そのようなことからデジタル化への対応は単位士会としては困難であり、連合会に対応してもらいたい旨の回答も多く上がった。また、複数の建築士会より機関誌「建築士」の見直し(WEB化・隔月化)を要望する声があった。また、その他、連合会に期待する多くの意見、また厳しい意見もあった。

広島士会からは、国からの委託事業を取ってほしい、建築士登録手数料を上げるよう国に訴えてほしい、専攻建築士にもっとバリューを付けてほしい、受講者が集まる講習会を考えてほしい、建築甲子園の大学生版を企画してほしい。(応募資格は建築士会会員または会員でない場合はエントリー料3000円程度とする。大学生はコンペなどが就職に直結するが機会があまりないとのこと。会員増強が期待できる)などの意見があった。

また、秋田士会からは、収入を増やすための明るい材料が見込めない中、中長期経営計画等の作成はできません。財政がひっ迫した原因は、会員減・委託費の減によることが明らかなので、これを解消しない限りは円滑な経営は不可能であります。全国の建築士会が消滅する危機を鑑みて、会員の優遇や入会が義務となる制

度づくりを国交省と共に構築していただきたいと考えます。小手先の会員獲得や退会防止などでは、存続が何年か先延ばしになるだけであると考えます。という意見があり、同様の意見は複数あった。

香川士会からは、令和2年度に会費値上げを実施し、そのときには著しい会員数の減少が見られなかった。しかし、新規会員の勧誘に際しては、相手が断る理由として「会費が高い」を上げる人が多い。特に二十歳台の建築士合格者の勧誘の際にそのケースが多い。との意見があり、会費値上げのデメリットの側面を示している。

15)その他

奈良士会では、関西にある建築系大学及び専門学校または、県外大学で奈良県で働きたい方を対象にインターンシップを企画しており、会員が所属する「設計事務所(組織系、アトリエ系)、地域ゼネコン、工務店、木材業」から学生が自由に選び、学生の夏休み期間中の5日~10日間で参加してもらう。学生にとっては、将来なりたい職種や奈良県で働く意義や魅力を知るきっかけになり、企業にとっては、優秀な若手社員の雇用、士会にとっては会員増や学生や先生との関係づくりを構築し、今後の活動に活かす等のメリットがある。

各種講習会についての検討状況と今後の予定(案)

■委員会での検討

○第 4 回教育・事業本委員会(令和 7 年 2 月 20 日(木)10:00~12:00)

第 2 回財政・健全化 TF(令和 7 年 2 月 4 日(火)10:00~12:00)で使用した資料に基づき説明、以降の具体的な検討を教育・事業本委員会で行う事について了解を得た。

■今後の予定(案)

・上記の委員会での議論、連合会に対する意見等を踏まえ、教育・事業本委員会において、以下の検討を進めていく。

○共通:受講者増に関する検討

(既存住宅状況調査技術者講習)

- ・省エネ部位ラベル(既存住宅を対象とした省エネ性能に資する部位を表示できる制度)との連携
- ・非住宅を対象とした状況調査・保険等を実施している検査会社との連携
- ・住宅金融支援機構の融資制度を利用する前提での既存住宅状況調査技術者の活用
- ・各士会が行政団体を訪問して既存住宅状況調査技術者を活用した助成制度等の創設を依頼するチラシ等の作成

(監理技術者講習)

- ・各士会が建設会社や団体等を訪問して受講者勧誘用に使用するチラシ等の作成

○監理技術者講習

- ・印刷製本費について、複数業者による相見積もりを実施。
 - ・テキストについて、毎年刷新→隔年刷新に変更(法改正等により説明が必要な部分のみ別刷り)。
 - ・各士会が建設会社や団体等を訪問して受講者勧誘用に使用するチラシ等の作成(再掲)。
 - ・講習会のオンライン化の実施
- ※複数の士会から対面講習の実施が会議室借上料等の点から困難という意見あり。オンラインとなっても既存住宅状況調査技術者講習と同様に委託費は士会に支払う事を予定。

○既存住宅状況調査技術者講習

- ・印刷製本費について、複数業者による相見積もりを実施。
- ・システム費用について、住所確認で 500 円/1 件、写真の加工で 500 円/1 件について引き下げられないかシステム開発会社と交渉。

以上

「けんばい」についての検討状況と今後の予定(案)

■委員会での検討

○第4回業務保険委員会(令和7年1月27日(月)16:00~18:00)

既存の「けんばい」のチラシは、既に保険制度を知っている方向けの保険内容の詳細説明に特化した形式であるため、本保険制度を知らない・詳しくない方向けの導入になる「新チラシ」を作成することに向けての検討を行った。

■建築士会全国職員会議での報告

○令和6年度建築士会全国職員会議(令和7年2月21日(金)14:00~16:00)全国の事務局職員が一同に会す上記全国会議にて、「けんばい」の有用性についてのご報告(第2回TF資料の抜粋)及び委員会で検討した「新チラシ」ラフの確認と意見募集を行った。

■今後の予定(案)

○「新チラシ」について

「新チラシ」の構成が終わり、現在、東京海上日動の内部で社内審査中であり、今後5月初旬~中旬にかけてチラシ及びポスターを発行予定。

※発行後に全国の建築士会へ発送予定。

○全国職員研修の開催について

全国の建築士会において、職員入替などにより「けんばい」PRのためのノウハウが現職員に継承されていないケースがあり、今後保険会社の協力の元、全国の事務局職員を対象とした「けんばい」の勉強会・研修のWEB開催を予定している。

※「新チラシ」発行以降、6月の開催を目指す。

以上

機関誌「建築士」についての検討状況と今後の予定(案)

■委員会での検討等

○アンケートの実施(令和 7 年 1 月 24 日(金)～2 月 6 日(木))

・各建築士会に対して、士会独自の会誌発行の有無・頻度、機関誌「建築士」の発行頻度や WEB 化等についての希望を確認。

○情報・広報委員会での検討

・2 月 20 日の第 1 回委員会において、機関誌「建築士」について隔月化、WEB 化等の課題があることについてアンケート実施結果も含めて付議。

第 1 回情報・広報委員会(令和 7 年 2 月 20 日(木)13:30～15:30)

出席:古谷誠章会長、上原伸一担当副会長、山本勝義委員長、片山和俊委員、大石佳知委員(欠)、北尾靖雅委員、荻窪伸彦委員、山本道善委員

議題:

- (1) 令和 6・7 年度の情報・広報委員会について
- (2) 編集部会活動報告について
- (3) 情報部会活動報告について
- (4) 会誌「建築士」の改善について
 - ① 現状と課題(建築士会財政健全化検討タスクフォース)
 - ② アンケート調査結果
 - ③ 今後の対応について
- (5) 建築士会連合会の情報発信・広報の方針について
 - ① 現状と課題
 - ② 参考事例

・これまで情報・広報委員会は年に 1 回のみの実施であったが、委員会でさまざまな意見が出ており、令和 7 年度は頻度高く開催する事を確認。

■今後の予定(案)

・上記のアンケート、議論を踏まえ、情報・広報委員会において、以下の検討を進めていく。

○機関誌「建築士」における隔月化、WEB 化については、連合会・各士会ともメリット・デメリットがあり、導入するにしても、士会毎の紙と WEB の選択や、即時性のある情報のみの WEB 発信などさまざまなパターンが考えられるので、引き続き導入に向けて検証していく。

○なお、印刷業者選定等の相見積もり、広告収入増強については、すぐに取り組むを進めていく。

○士会連合会の情報発信・広報の観点から、誰にどのような情報を伝えていくかが重要で、そのために、機関誌「建築士」だけでなく、ホームページ、SNS などのツールをどのように活用していくのかも検討していく。

以上

今後の全国大会の運営について(事務局案)

1956年(昭和31年)より、災害などの例外を除き、原則毎年開催しております、建築士会全国大会ですが、昨今の物価高などの経済情勢や建築士会の厳しい財政状況により、単位士会を主管県として開催することが困難になってきているという声があります。

会員数の減少による運営スタッフの人員不足、開催の運営にかかる資金の調達の困難(毎年平均予算5000万円)など、一昔前よりも開催県にかかる負担が相対的に増している状況にあります。

実際に大会を開催した士会や、これから開催する士会から色々なご意見が届いていますので、ここにご紹介させていただき、本会議にておいてご意見をお伺い致します。

① 開催頻度の減少

1) 東京→地方の交互開催

東京→地方→東京と交互に開催することで地方の開催頻度を減らせないか。

2) 隔年開催

全国大会の開催自体を隔年での開催としてはどうか。

② 北海道士会の負担軽減

現在、北海道士会は1ブロックとして扱っている。とは言え7年に1度では負担も多いことから2週に1度の開催としているが、開催頻度を3週に1度であったり、東北ブロックに含めて開催頻度を減らしてもらえないか。

③ ブロック内での負担金の軽減

7年に1度ブロック内で負担金を拠出しているが、負担が大きいため分散できないか。

→事務所協会では、毎年47士会から5万円を負担して大会運営に充てている。

④ 大会運営のスリム化

毎年全国大会の運営には、およそ5000万円がかかるため、記念講演や各種イベントの見直しを図り、運営にかかる費用を削減出来ないか。

以上

建築士会全国大会開催年・開催県一覽

【資料10-2】

全国大会(開催県、開催地等)

西暦(年号)	開催回數・開催日	開催地	参加者數(名)
1956(S31年)*	(1) 10/23 (S27創立)	愛知(名古屋市)	800
1957(S32年)*	(2) 8/25	北海道(札幌市)	1,000
1958(S33年)	(3) 11/27	香川(高松市)	1,000
1959(S34年)	(4) 11/16	東京	2,000
1960(S35年)	(5) 11/7	大阪	800
1961(S36年)	(6) 10/5	宮城(仙台市)	1,200
1962(S37年)	(7) 11/14 (10周年)	東京	1,300
1963(S38年)	(8) 11/5	大分(別府市)	2,000
1964(S39年)	11/2(建築祭)	東京	
1965(S40年)	(9) 9/16	石川(金沢市)	2,300
1966(S41年)	(10) 10/27	広島	2,700
1967(S42年)	(11) 10/25 (15周年)	東京	2,000
1968(S43年)	(12) 9/17	山形	1,500
1969(S44年)	(13) 10/23	愛知(名古屋市)	2,300
1970(S45年)	7/23 (万博建築祭)	大阪	
1971(S46年)	(14) 11/11	鹿児島	2,200
1972(S47年)	(15) 11/20 (20周年)	東京	2,000
1973(S48年)	(16) 10/29	岡山	2,300
1974(S49年)	(17) 9/25	福島	2,400
1975(S50年)	(18) 11/10	沖縄(那覇市)	2,300
1976(S51年)	(19) 11/11	静岡	3,100
1977(S52年)	(20) 11/10 (25周年)	東京	2,688
1978(S53年)	(21) 11/16	京都	3,250
1979(S54年)	(22) 11/7	高知	2,500
1980(S55年)	(23) 9/25	北海道(札幌市)	2,500
1981(S56年)	(24) 10/22	秋田	2,600
1982(S57年)	(25) 10/22 (30周年)	新潟	3,300
1983(S58年)	(26) 10/7	富山	3,300
1984(S59年)	(27) 10/19	熊本	3,221
1985(S60年)	(28) 10/18	滋賀(大津市)	4,014
1986(S61年)	(29) 10/17	山口	3,653
1987(S62年)	(30) 10/2	岩手(盛岡市)	4,100
1988(S63年)	(31) 10/21 (式典のみ中止)	神奈川(横浜市)	(伊吹集会) 876
1989(H元年)	(32) 10/6	岐阜	4,480
1990(H2年)	(33) 10/4	福岡	5,592
1991(H3年)	(34) 9/27 (士法40年)	千葉	5,605
1992(H4年)	(35) 10/9 (40周年)	兵庫(神戸市)	4,679
1993(H5年)	(36) 9/23	北海道(旭川市)	6,808
1994(H6年)	(37) 10/14	愛媛(松山市)	4,602
1995(H7年)	(38) 9/14	青森	4,554
1996(H8年)	(39) 10/18	福井	5,065
1997(H9年)	(40) 10/17	長崎	5,820
1998(H10年)	(41) 11/13	奈良	4,293
1999(H11年)	(42) 10/22	長野	5,441
2000(H12年)	(43) 10/27	鳥取(米子市)	4,095
2001(H13年)	(44) 10/5	宮城(仙台市)	4,314
2002(H14年)	(45) 10/18 (50周年)	三重(伊勢市)	4,458
2003(H15年)	(46) 10/24	宮崎	4,582
2004(H16年)	(47) 10/22	和歌山	4,219
2005(H17年)	(48) 6/10(愛知万博)	愛知(名古屋市)	4,882
2006(H18年)	(49) 10/20	栃木(宇都宮市)	4,168
2007(H19年)	(50) 9/8	北海道(帯広市)	2,735
2008(H20年)	(51) 10/25	徳島	3,464
2009(H21年)	(52) 10/16	山形	3,251
2010(H22年)	(53) 10/22	佐賀	3,457
2011(H23年)	(54) 8/20 中止(東日本大震災)	大阪	—
2012(H24年)	(55) 10/19 (60周年)	茨城(水戸市)	3,033

全国大会(開催県、開催地等)

西暦(年号)	開催回數・開催日	開催地	参加者數(名)
2013(H25年)	(56) 10/19	鳥取	3,187
2014(H26年)	(57) 10/24	福島	3,034
2015(H27年)	(58) 10/30	石川(金沢市)	3,620
2016(H28年)	(59) 10/22	大分(別府市)	3,223
2017(H29年)	(60) 12/8	京都(京都市)	3,832
2018(H30年)	(61) 10/26	埼玉(大宮市)	3,062
2019(R1年)	(62) 9/21	北海道(函館市)	2,926
2020(R2年)	広域開催中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)		
2021(R3年)*2	(63) 11/20	広島(東京)	1,899
2022(R4年)	(64) 10/14 (士会連 創立70周年)	秋田	2,706
2023(R5年)	(65) 10/27	静岡	2,906
2024(R6年)	(66) 10/25	鹿児島	3,133
2025(R7年)	(67) 9/19	大阪	
2026(R8年)	(68) 10/16	群馬	
2027(R9年)	(69) 10/29	香川	
2028(R10年)	(70) /	東北	
2029(R11年)	(71) /	東海北陸	
2030(R12年)	(72) /	九州	
2031(R13年)	(73) /	近畿	
2032(R14年)	(74) / (80周年)	関東甲信越	
2033(R15年)	(75) /	北海道	
2034(R16年)	(76) /	中国四国	
2035(R17年)	(77) /	東北	
		以降、予定	
		東海北陸	
		九州	
		近畿	
		関東甲信越	
		中国四国	
		東北	
		東海北陸	
		九州	
		近畿	
		関東甲信越	
		北海道	

理事会決定済

備考: *1 第1回、第2回は日本建築学会との連合大会

既存住宅状況調査技術者講習 受講者数の推移

【資料15-1】

2024年5月15日時点

令和6年度 受講者

士会名	新規講習			更新講習			合計
	対面	オンライン	計	対面	オンライン	計	
北海道	8	8	16	4	32	36	52
青森	0	1	1	0	9	9	10
岩手	1	0	1	2	4	6	7
宮城	0	6	6	0	10	10	16
秋田	0	2	2	9	8	17	19
山形	0	1	1	3	11	14	15
福島	13	1	14	11	15	26	40
茨城	0	8	8	0	25	25	33
栃木	0	3	3	0	8	8	11
群馬	1	1	2	1	11	12	14
埼玉	0	6	6	9	26	35	41
千葉	7	4	11	4	22	26	37
東京	0	9	9	0	44	44	53
神奈川	16	12	28	20	24	44	72
山梨	0	0	0	2	8	10	10
長野	0	2	2	0	17	17	19
新潟	0	3	3	0	24	24	27
静岡	6	4	10	0	24	24	34
愛知	8	9	17	5	35	40	57
岐阜	3	5	8	7	8	15	23
三重	0	2	2	0	10	10	12
富山	2	3	5	1	6	7	12
石川	0	8	8	0	10	10	18
福井	2	2	4	11	14	25	29
滋賀	13	3	16	11	10	21	37
京都	5	5	10	6	6	12	22
大阪	19	7	26	23	29	52	78
兵庫	0	5	5	0	22	22	27
奈良	0	3	3	0	4	4	7
和歌山	0	2	2	0	3	3	5
鳥取	0	2	2	0	5	5	7
島根	3	2	5	6	9	15	20
岡山	5	2	7	3	5	8	15
広島	17	3	20	16	10	26	46
山口	3	2	5	5	7	12	17
徳島	7	4	11	12	9	21	32
香川	12	3	15	12	11	23	38
愛媛	4	3	7	2	8	10	17
高知	4	2	6	0	3	3	9
福岡	19	11	30	5	20	25	55
佐賀	0	4	4	8	2	10	14
長崎	5	0	5	2	8	10	15
熊本	7	4	11	9	11	20	31
大分	4	1	5	3	9	12	17
宮崎	3	1	4	5	5	10	14
鹿児島	0	0	0	0	6	6	6
沖縄	0	3	3	0	5	5	8
連合会	69	0	69	46	0	46	115
合計	266	172	438	263	612	875	1,313

令和7年度 申込者

士会名	新規講習			更新講習			合計
	対面	オンライン	計	対面	オンライン	計	
北海道	0	1	1	0	1	1	2
青森	0	2	2	0	0	0	2
岩手	0	0	0	0	0	0	0
宮城	0	0	0	0	1	1	1
秋田	0	1	1	0	0	0	1
山形	0	0	0	0	0	0	0
福島	0	1	1	0	0	0	1
茨城	0	1	1	0	0	0	1
栃木	0	0	0	0	0	0	0
群馬	0	0	0	0	0	0	0
埼玉	0	1	1	0	0	0	1
千葉	2	0	2	0	0	0	2
東京	0	2	2	0	2	2	4
神奈川	5	2	7	0	0	0	7
山梨	0	1	1	0	0	0	1
長野	0	0	0	0	0	0	0
新潟	0	2	2	0	0	0	2
静岡	0	0	0	0	0	0	0
愛知	0	1	1	0	1	1	2
岐阜	0	1	1	0	0	0	1
三重	0	0	0	0	0	0	0
富山	0	1	1	0	0	0	1
石川	1	0	1	0	0	0	1
福井	1	0	1	1	0	1	2
滋賀	0	1	1	0	0	0	1
京都	1	0	1	1	0	1	2
大阪	2	1	3	1	0	1	4
兵庫	0	1	1	1	1	2	3
奈良	0	0	0	0	0	0	0
和歌山	0	0	0	0	0	0	0
鳥取	0	0	0	0	0	0	0
島根	0	2	2	0	1	1	3
岡山	0	0	0	0	0	0	0
広島	6	3	9	3	0	3	12
山口	1	1	2	0	0	0	2
徳島	7	0	7	0	0	0	7
香川	0	0	0	0	0	0	0
愛媛	1	2	3	0	0	0	3
高知	1	0	1	1	0	1	2
福岡	0	1	1	0	0	0	1
佐賀	1	0	1	0	0	0	1
長崎	0	0	0	0	0	0	0
熊本	3	1	4	0	0	0	4
大分	0	0	0	0	0	0	0
宮崎	0	0	0	0	0	0	0
鹿児島	0	0	0	0	0	0	0
沖縄	0	1	1	0	0	0	1
連合会	15	0	15	0	0	0	15
合計	47	31	78	8	7	15	93

監理技術者講習 開催状況および受講申込状況

士会名	令和6年度 受講者数		令和7年度 実施計画(令和7年5月15日現在)	
	開催数	受講申込者数	開催数	受講申込者数
連合会	24	605	11	92
北海道	18	62	15	11
青森	0	0	0	0
岩手	5	9	5	0
宮城	3	8	1	1
秋田				
山形				
福島				
茨城	1	9	1	0
栃木				
群馬	0	0	0	0
埼玉				
千葉	2	2	2	1
東京				
神奈川				
山梨	6	46	6	24
長野				
新潟	25	19	25	10
静岡				
愛知	8	78	8	10
岐阜	1	2	0	0
三重	2	10	2	6
富山	6	21	6	9
石川				
福井	9	61	9	10
滋賀	3	23	3	5
京都	4	19	4	3
大阪	8	77	4	10
兵庫				
奈良	4	9	4	3
和歌山	24	50	24	29
鳥取	6	49	6	21
島根				
岡山	14	27	14	8
広島	12	24	11	15
山口	12	14	12	3
徳島	3	14	3	12
香川	4	43	3	16
愛媛	5	16	6	10
高知	3	14	3	4
福岡	2	15	2	1
佐賀	3	17	3	6
長崎	5	13	4	4
熊本	2	10	1	6
大分	6	4	6	0
宮崎	6	11	6	3
鹿児島	2	0	2	1
沖縄				
合計	238	1381	212	334

令和5年度・令和6年度 建築士定期講習 実施結果

【資料15-3】

NO	士会名	令和5年度 合計		令和6年度 実施結果等								令和6年度 合計	
				第1期		第2期		第3期		第4期			
		定員	受講者数	申込者数	受講者数	申込者数	受講者数	申込者数	受講者数	申込者数	受講者数	定員	受講者数
1	北海道	944	946	142	142	0	0	206	206	156	158	504	506
2	青森	95	92	55	55	0	0	0	0	0	0	55	55
3	岩手	121	121	31	31	37	37	11	11	37	37	116	116
4	宮城	217	217	52	52	41	41	25	25	57	57	175	175
5	秋田	187	187	0	0	71	71	72	72	30	30	173	173
6	山形	0	0	50	50	40	40	99	99	28	28	217	217
7	福島	268	269	0	0	117	117	0	0	26	27	143	144
8	茨城	213	208	67	67	77	77	0	0	0	0	144	144
9	栃木	125	123	44	44	20	20	30	30	19	19	113	113
10	群馬	133	134	46	46	50	50	23	23	19	19	138	138
11	埼玉	278	280	62	62	46	46	36	36	64	64	208	208
12	千葉	338	338	11	11	19	19	28	28	21	21	79	79
13	東京	1,263	1,260	180	180	169	169	206	206	181	184	736	739
14	神奈川	414	409	0	0	168	168	0	0	157	158	325	326
15	山梨	148	146	0	0	55	55	41	41	27	27	123	123
16	長野	337	335	63	63	58	58	42	42	67	71	230	234
17	新潟	605	600	45	45	89	89	105	105	37	38	276	277
18	富山	420	420	117	117	29	29	87	87	46	46	279	279
19	石川	168	175	0	0	0	0	40	40	24	24	64	64
20	福井	262	262	0	0	57	57	0	0	32	32	89	89
21	岐阜	318	315	64	64	92	92	61	61	42	44	259	261
22	静岡	155	152	0	0	95	95	0	0	36	36	131	131
23	愛知	376	376	32	32	44	44	72	72	55	55	203	203
24	三重	83	84	31	31	31	31	21	21	0	0	83	83
25	滋賀	344	341	0	0	63	63	101	101	50	50	214	214
26	京都	168	163	0	0	53	53	0	0	58	58	111	111
27	大阪	608	610	87	87	88	88	145	145	85	88	405	408
28	兵庫	94	94	0	0	46	46	0	0	24	26	70	72
29	奈良	0	0	58	58	60	60	0	0	45	46	163	164
30	和歌山	123	118	0	0	100	100	0	0	11	11	111	111
31	鳥取	193	191	24	24	27	27	17	17	0	0	68	68
32	島根	278	278	38	38	95	95	64	64	36	36	233	233
33	岡山	287	266	32	32	141	141	0	0	0	2	173	175
34	広島	374	379	0	0	0	0	135	135	120	122	255	257
35	山口	369	366	45	45	27	27	42	42	18	18	132	132
36	徳島	145	145	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	香川	353	350	77	77	85	85	69	69	37	38	268	269
38	愛媛	127	125	29	29	17	17	20	20	6	6	72	72
39	高知	260	260	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40	福岡	323	324	0	0	82	82	0	0	95	95	177	177
41	佐賀	181	180	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
42	長崎	202	200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
43	熊本	378	376	0	0	84	84	22	22	0	1	106	107
44	大分	134	132	0	0	43	43	0	0	0	1	43	44
45	宮崎	127	130	0	0	37	37	0	0	19	19	58	58
46	鹿児島	84	89	0	0	38	38	0	0	25	31	63	69
47	沖縄	232	227	74	74	0	0	58	58	23	23	155	155
	合計	12,850	12,793	1,556	1,556	2,491	2,491	1,878	1,878	1,813	1,846	7,738	7,771

都道府県建築士会会員数一覧

■令和7年度

士会会員数は各月1日現在

士会名	令和7年 3月	4月	5月	前月差	前年5月	前年5月差
北海道	3,431	3,437	3,451	14	3,548	▲ 97
小計	3,431	3,437	3,451	14	3,548	▲ 97
青森	935	917	863	▲ 54	938	▲ 75
岩手	1,295	1,291	1,233	▲ 58	1,324	▲ 91
宮城	687	679	656	▲ 23	700	▲ 44
秋田	922	917	902	▲ 15	929	▲ 27
山形	799	812	785	▲ 27	810	▲ 25
福島	1,371	1,358	1,342	▲ 16	1,384	▲ 42
小計	6,009	5,974	5,781	▲ 193	6,085	▲ 304
茨城	1,669	1,647	1,630	▲ 17	1,698	▲ 68
栃木	1,114	1,090	1,071	▲ 19	1,147	▲ 76
群馬	1,134	1,125	1,101	▲ 24	1,152	▲ 51
埼玉	1,202	1,200	1,190	▲ 10	1,225	▲ 35
千葉	1,545	1,519	1,517	▲ 2	1,548	▲ 31
東京	4,560	4,455	4,340	▲ 115	4,665	▲ 325
神奈川	2,023	2,009	1,952	▲ 57	2,027	▲ 75
山梨	875	885	885	0	910	▲ 25
長野	1,951	1,916	1,897	▲ 19	1,975	▲ 78
新潟	1,609	1,580	1,500	▲ 80	1,646	▲ 146
小計	17,682	17,426	17,083	▲ 343	17,993	▲ 910
静岡	1,090	1,065	1,065	0	1,090	▲ 25
愛知	3,100	3,050	3,020	▲ 30	3,170	▲ 150
岐阜	903	883	878	▲ 5	923	▲ 45
三重	686	679	677	▲ 2	692	▲ 15
富山	1,090	1,070	1,045	▲ 25	1,130	▲ 85
石川	1,140	1,122	1,110	▲ 12	1,153	▲ 43
福井	834	807	802	▲ 5	832	▲ 30
小計	8,843	8,676	8,597	▲ 79	8,990	▲ 393
滋賀	677	668	667	▲ 1	695	▲ 28
京都	1,142	1,119	1,116	▲ 3	1,165	▲ 49
大阪	2,170	2,170	2,150	▲ 20	2,230	▲ 80
兵庫	1,267	1,225	1,220	▲ 5	1,271	▲ 51
奈良	686	647	635	▲ 12	684	▲ 49
和歌山	1,200	1,207	1,198	▲ 9	1,220	▲ 22
小計	7,142	7,036	6,986	▲ 50	7,265	▲ 279
鳥取	585	585	585	0	590	▲ 5
島根	1,130	1,120	1,120	0	1,130	▲ 10
岡山	1,178	1,159	1,158	▲ 1	1,190	▲ 32
広島	1,575	1,575	1,590	15	1,595	▲ 5
山口	1,526	1,521	1,511	▲ 10	1,549	▲ 38
徳島	927	904	894	▲ 10	949	▲ 55
香川	1,245	1,230	1,230	0	1,265	▲ 35
愛媛	1,390	1,389	1,365	▲ 24	1,410	▲ 45
高知	818	805	805	0	825	▲ 20
小計	10,374	10,288	10,258	▲ 30	10,503	▲ 245
福岡	2,010	2,000	1,980	▲ 20	2,025	▲ 45
佐賀	869	860	857	▲ 3	879	▲ 22
長崎	920	907	890	▲ 17	946	▲ 56
熊本	1,210	1,200	1,195	▲ 5	1,220	▲ 25
大分	1,040	1,039	1,031	▲ 8	1,044	▲ 13
宮崎	892	872	861	▲ 11	894	▲ 33
鹿児島	1,673	1,673	1,660	▲ 13	1,702	▲ 42
沖縄	846	835	830	▲ 5	843	▲ 13
小計	9,460	9,386	9,304	▲ 82	9,553	▲ 249
合計	62,941	62,223	61,460	▲ 763	63,937	▲ 2,477

関ブロ令和7年度第2回会長会議

日 時 令和7年6月17日(火) 11:00～14:00
 会 場 建築会館308会議室
 出席者 長野＝ 江口 信行 (関ブロ副会長)
 新潟＝ 田中 隆司 千葉＝ 久富 清敏
 東京＝ 古谷 誠章 群馬＝ 高橋 康夫
 山梨＝ 長田 正彦 神奈川＝ 上原 伸一
 栃木＝ 田村 哲男 埼玉＝ 丸岡 庸一郎 (____は新会長)
 連合会＝ 小野田 吉純 (参与) (敬称省略)
 オブザーバー：相澤 晴夫 (茨城)、佐々木 龍郎 (東京)
 事務局＝ 駕海 浩康 (常務)、小川 和久、 笠木 直人
 欠席 茨城＝ 柴 和伸 (関ブロ会長)

新会長紹介・挨拶 田村 栃木県新会長
 挨拶・最近の動向 古谷 連合会会長挨拶

議事 1. 連合会理事会関係

- (1) 建築士会財政健全化検討 TF の検討状況について
- (2) 役員改選におけるブロック候補者推薦の推薦枠数の配分について
- (3) 今後の全国大会の運営について (資料 10-1、10-2)
- (4) まちづくり委員会・全国まちづくり会議に関する課題と対応について
- (5) 次世代建築職能人材育成について (五会会長会議)
- (6) 第20回木の建築賞について

議事 2. 令和7年度会長会議・理事会開催について

- ◆第2回理事会 <連合会次期会長候補者のブロック選出>
候補日：10月1日(水)、17日(金)
- ◆第3回理事会 <連合会次期会長・役員候補者の推薦・青年大会の承認>
候補日：2月13日(金)、18日(水)、25日(水)、26日(木)
- 令和8年度第1回会長会・理事会 (案)
予定日：令和8年4月10日(金)～11日(土)
会 場：ホテル国際21 (長野市大字南長野県町576) 長野駅よりシャトルバス
※災害対応代表者会議も、同会場にて同時開催予定。

(参考)

- ・ 連合会理事会・士会長合同 9月18日(木) グランキューブ大阪 (全国大会前日)
- ・ 74回連合会理事会 令和8年1月15日(木) 学会ホール
- ・ 75回連合会理事会 令和8年3月12日(木) WEB開催予定
- ・ 令和8年度関ブロ第1回会長会・理事会 4月頃 (長野県)
- ・ 8年度関ブロ青年協ぐんま大会 6月19日(金) ホテル磯部ガーデン (安中市)
- ・ 第68回建築士会全国大会ぐんま大会
テーマ：絹の国 建築つむぎ 未来へははたけ
日時 令和8年10月16日(金)
会場 メイン会場 Gメッセ群馬/高崎芸術劇場 (高崎市)

議事3. 各都県報告

議事4. 関ブロ関係報告

- ・ 令和7年度関ブロ青年協東京大会報告
日時 6月11日(土) 会場：大学セミナーハウス・京王プラザホテル八王子
参加登録者 460名 (学生 70名含む)
地域実践活動報告
最優秀賞『みやJOY2025～けんせつ博～』 安藤崇之氏 (栃木県)
第2位 『櫻ヶ丘中学校「防災の家」出張授業』 関 博之氏 (長野県)
第3位 『パスタブリッジ=未来の建築士たちへ』 上原弘恵氏 (千葉県)
- ・ 令和7年度青年・女性建築士の集い 中四国ブロックおかやま大会
日時 6月14,15日(土日) 会場：岡山大学創立50周年記念館他
※女性協議会より安藤めぐみ氏 (会長・神奈川県)、萩原香氏
(連合会委員・群馬県) が参加。

議事5. その他

- ・ 新入会員による<建築士会で取り組みたい事業>アイデア募集・募集要項
- ・ 令和7年度建築士の日・チラシ

Gunma Convention 2026

令和8年度
関東甲信越建築士会ブロック会
青年建築士協議会

ぐんま大会
in Isobe Spa

建築の芽を育んべえ



会期

2026.6.19 (金)

会場

ホテル磯部ガーデン

〒379-0127
群馬県安中市磯部1丁目12-5

主催 / 関東甲信越建築士会ブロック会 青年建築士協議会 49-

共催 / 一般社団法人 群馬建築士会

Gunma Convention 2026

第68回建築士会
全国大会
ぐんま大会

Japan Federation of Architects &
Building Engineers Associations

G-messe, Takasaki city theatre in Gunma.

絹の国
建築つむぎ
未来へはばたけ



富岡製糸場 Tomioka Silk Mill

会
期

2026.10.16 FRY

会
場

Gメッセ群馬 / 高崎芸術劇場

主催 (一社)日本建築士会連合会 共催 関東甲信越建築士会ブロック会 主管 (一社)群馬県建築士会 <https://gunmakenchikushikai.or.jp/>

大会事務局 (一社)群馬県建築士会 〒371-0846 群馬県前橋市元総社町2-5-3 群馬建設会館内 tel:027(252)2434 fax:027(252)2565

新入会員による<建築士会で取り組みたい事業>アイデア募集

募集要項

2025年4月1日・(公社)日本建築士会連合会 会長 古谷誠章

1. 主催：公益社団法人 日本建築士会連合会

2. 趣旨・目的：

- ・全国の47都道府県建築士会では、会員建築士が日ごろから見学会やセミナー、まち歩きなどの事業に参加して自己研鑽を積み、あわせて一般市民や他の会員と協働して地域社会の活性化や、建築文化振興など多くの活動にも取り組んでいます。また、建築士会が、設計・工事監理者の他、施工者、住宅産業、教育、行政などの様々な分野の会員で構成されることから、会員同士の情報交換はとても有意義で、多くの会員がこうした様々な活動を通して知り合い、楽しく交流・交歓しています。
- ・日本建築士会連合会(以下、士会連合会)は、全国の建築士会相互、および会員同士の交流を促進するため、各士会活動の活性化を支援しています。今年度より新たに、各建築士会への新入会員が建築士会の魅力に触れ、若い仲間と共に、自らの活動へのモチベーションを高めてもらえるように、全国の新入会員ならではの<建築士会で取り組みたい事業>アイデアの大募集を行います。
- ・提案された皆さんのアイデアを、士会連合会会長が直接目を通し、教育・事業本委員会、青年委員会、女性委員会等で取りまとめて、アイデア集として全国の建築士会に共有し、地域を超えて提案者と各建築士会が交流し、実際の事業化・会の活性化につなげるヒントとしてもらうことを目的とします。



まちづくりに関心のある全国の建築士会の会員が一堂に会する全国まちづくり会議 in 松江(2025年1月31日、2月1日)

3. 応募対象者：

- ・各都道府県建築士会に概ね3年以内に入会した新入会員(正会員)を対象とします。
- ・応募作業自体を新入会員同士のコミュニケーションの機会とするために、新入会員が協働し連名で応募するのが原則です。人数の制限はありません。万一、連名が難しい場合は、各建築士会の青年・女性委員会メンバーのサポートを受けて応募してください。
- ・連名の場合でも、各建築士会の青年・女性委員会に連絡をとり、会の活動などに改善すべき点や、取り入れてみたい点があるかなど、情報を積極的に収集して応募されることを期待します。

4. 応募要領：

- ・新入会員が<建築士会で取り組みたい事業>のアイデアであれば、どのようなものでも構いません。社会にそのまま貢献するアイデアはもとより、もっとフランクに会員同士の交流を図るための気楽な行事のアイデアでも結構です。A4一枚を使って自由に提案してください。その提案の表現方法は自由です。独創性があり、同時に実現性も考慮したアイデアを練ってください。魅力的な提案を期待しています。

5. 応募作品の提出:

(1)提出物

- ・A4・1枚の別添様式に必要事項を記載したもの

(2)提出期限

- ・2025年7月18日(木)

- ・次のメールアドレスまで提出をお願いします。

Mail: jigyo1@kenchikushikai.or.jp

(3)質疑応答

- ・質疑があれば、以下の問い合わせ先までメールでの連絡をお願いします。

6. 評価:

(1)評価基準

- ・提案内容の「実現性」、「独創性」等の観点から評価を行います。

(2)評価の流れ

①「いいね」投票

- ・すべての応募作品(応募様式に記入した代表者連絡先を除く)について、士会連合会の青年・女性委員会メンバー、全国の建築士会の40歳以下(2025年4月1日時点)の正会員を対象にWEBによる「いいね」投票を行います。

②「おすすめ提案」選出

- ・「いいね」投票結果を参考にして、改めて全提案に対して、士会連合会の会長、教育・事業本委員会・青年委員会・女性委員会の代表による評価を行い、「おすすめ提案」を選んで、講評を作成します。

(3)評価委員会

委員長	古谷 誠章(士会連合会会長)
委員	田中 隆司(教育・事業本委員会委員長)
	吉田 浩司(青年委員長)
	石貫 方子(女性委員長)
	青年委員会 数名
	女性委員会 数名

7. アイデア集のとりまとめ:

- ・上記の講評を加え、すべての応募提案(応募様式に記載した応募者氏名、代表者連絡先も含む)を一覧にとりまとめて、「いいね」投票結果と共に、都道府県建築士会に開示します。

- ・発表ならびにアイデア集の開示は、2025年9月19日の建築士会全国大会を予定

8. 応募提案の扱い:

- ・応募者は提案について、アイデア集として都道府県建築士会に開示(応募者氏名、代表者連絡先を含む)されることを理解した上で応募してください。

- ・提案者に対し、士会連合会ならびに各建築士会が関心を持った場合には、個別に連絡の上、協議させていただきます。

9. 問い合わせ先:

(公社)日本建築士会連合会 事業部

TEL 03-3456-2061 FAX 03-3456-2067

Mail: jigyo1@kenchikushikai.or.jp

地域実践活動報告会 発表者紹介

番号	発表タイトル	発表者	都県名
1	建築の畑を肥やす	南雲 大輔	群馬県
2	「建築士×防災士＝地域への貢献」～建築志を育てよう～	三枝 則子	山梨県
3	未来チャレンジコンペ — 3Dプリンタでつくる子どもが集まって座りたくなるベンチ—	石田 卓朗	神奈川県
4	みや JOY2025～けんせつ博～	安藤 崇之	栃木県
5	みんなで作る埼玉建築士会青年委員会 ～「交流」と「研鑽」を通した助け合える仲間づくり～	島田 義信	埼玉県
6	おうち模型でまちづくり - うしく土曜カッパ塾 -	中島 剛文	茨城県
7	櫻ヶ岡中学校「防災の家」出前授業	関 博之	長野県
8	楽しいまちを自分たちでつくる -「まちの魅力づくり」と「まちなかあそび」に着目して-	坂下 尚之	新潟県
9	バスタブリッジ ～未来の建築士たちへ～	上原 弘恵	千葉県
10	高校生向けワークショップの5年間の軌跡と今後の展望 —261名の高校生と歩んだ“SDG's まちづくりプログラム”—	和田 修和	東京都



えっ! 住まいの断熱化で健康で長生きできるの?

建築と医療の専門家に答えてもらいます!

令和7年度
建築士の日

記念講演およびパネルディスカッション

YouTubeにて
無料配信 申込不要



令和7年6月29日(日)

AM10:00より配信開始(60分)

<https://www.kenchikushikai.or.jp>

テーマ

いつもの暮らしにも
災害時にも

命と暮らしを守る「一室改修」のすすめ

内容

耐震、省エネ等の十分な性能を有していない既存住宅は、生活する住民にとって大きな不安を与えています。しかし、一室だけでも性能がアップできれば健康や生命に対するリスクを大幅に減少させることが可能となります。市民に必要な「一室改修」に関する情報を(公社)日本建築士会連合会がお伝えさせていただきます。

基調講演

パネルディスカッション



講師 慶應義塾大学理工学部教授/
(一財)住宅・建築SDGs推進センター理事長

伊香賀 俊治氏
「誰ひとり取り残さないために、
せめてひと部屋断熱改修で
暖かく涼しく健康に」 20分



講師 日本医師会元副会長

今村 聡氏
「医師からみた、
健康省エネ住宅の
重要性」 20分



進行役 日本建築士会連合会会長/
早稲田大学名誉フェロー

古谷 誠章氏
「一室改修を進めるには」 20分

パネリスト
伊香賀俊治+今村聡+古谷誠章

ひと部屋断熱改修がもっと普及していたら…

家庭内事故を減らせていたかも

2023年度

転倒転落^{注)}

2,709人

同一平面 74%
階段等 18%
屋根等 8%



浴槽での溺死^{注)}

6,354人

注) 厚生労働省人口動態統計の「家庭内の不慮の事故死」と「交通事故死(1年以内死亡)」、
保健所の交通事象死統計(24時間以内死亡)をグラフ化

災害関連死を減らせていたかも

地震、豪雨などの
直接死に対する
災害関連死の倍率

東日本大震災(2011.3)
0.4倍(3786人/12114人)^{注1)}

関東・東北豪雨(2015.9)
1.6倍(13人/8人)^{注1)}

熊本地震(2016.4)
4.0倍(221人/55人)^{注1)}

能登半島地震(2024.1)
1.6倍(356人/228人)^{注2)}



注1: NHK WEB 災害列島 命を守る情報サイト
2025.3.1アクセス

能登半島地震
災害関連死原因

循環器系疾患 32% 呼吸器系疾患 30% 消化器系疾患+感染症 5%

お問合せ

公益社団法人 日本建築士会連合会

Mail: jigyo1@kenchikushikai.or.jp

日本建築士会連合会は、全国組織であり、建築士の職能の向上と社会貢献を目的に活動している公益法人です。

令和7年度〈第2回〉理事会

【 各委員会の活動報告 】

第2回理事会〈令和7年5月15日〉以降の委員会活動報告

〈総務・企画委員会〉

○委員会の開催状況

第2回委員会の開催

期 日:令和7年 8月19日午後3時～

場 所:市町村会館 2階中会議室

〈協議事項〉

- ・7月末仮決算について
- ・納涼会の報告及び反省点等について
- ・第67回全国大会「おおさか大会」について
- ・会員増強運動について
- ・令和7年度の主な事業について

○事業活動報告

①令7年度〈第73回〉通常総会の開催

期 日:令和7年 5月30日午後3時

会 場:ホテルレイクビュー水戸

出席者:総会(163名) 委任状(284名) 計447名

②第12回合同大納涼会

期 日:令和7年 7月11日午後5時00分～

会 場:ホテル・テラスザガーデン水戸

参加者:181名

〈研修委員会〉

○委員会の開催状況

開催なし

○事業活動報告

①定期講習

◆第1回

期 日:令和6年6月10日

会 場:開発公社ビル

受講者:54名

◆第2回

期 日:令和6年 8月21日

会 場:研修センター

受講者:52名

③建築士試験の実施

- ・二級建築士〈学科〉令和7年 7月 7日(日)水戸啓明高校
受験者数 392名(実受験者 315名:出席率 80.5%)
- ・一級建築士〈学科〉令和7年 7月 27日(日)水戸工業高校
受験者数 517名(実受験者 367名:出席率 70.9%)
- ・木造建築士〈学科〉令和6年 7月 28日(日)水戸工業高校
受験者数 3名(実受験者 2名:出席率 66.7%)

④令和7年度建築パトロール(県委託事業)

(第1回)・・・各支部の実施途中結果

- ・実施期間:令和7年 7月 2日 ~ 7月 26日
 - ・点検件数:19支部(35市町村) 951件
 - ・結 果:違反 0件、表示板未掲示 57件、工事監理者なし 2件
- ※第2回パトロールは、令和7年 1月下旬頃に実施予定

⑤既存住宅状況調査技術者養成講習の実施(新規、更新者向け講習)

オンライン講習	5月~8月	更新講習	2名
	5月~8月	新規講習	2名
		合計	4名

〈会員委員会〉

○委員会の開催状況

第1回委員会の開催

期 日:令和7年 6月 3日午後3時~

場 所:市町村会館 2階 会議室

〈協議事項〉

- ・令和7年度事業計画について
- ・チャリティゴルフ大会について
- ・会員増強運動の結果について(各委員の取り組みを報告)
- ・その他

○事業活動報告

①第33回チャリティゴルフ大会

期 日:令和7年 6月 25日

会 場:富士カントリー笠間倶楽部

参加者:84名 優勝 個人の部:林 喜之氏(結城支部) 団体の部:筑波支部

②第15回ボウリング大会の開催

期 日:令和7年 8月 23日

会 場:水戸市「大学ボウル 水戸店」

参加者:50名

〈情報・広報委員会〉

○委員会の開催状況

開催なし(第1回委員会は令和7年4月22日に開催済み)

○事業活動報告

- ①会報誌 No.116号(6月総会号)の発刊(令和7年7月配布)
- ②定期的なホームページの更新及びフェイスブックの活用の推進等
- ③木造住宅耐震診断士養成講習会
期 日:令和7年8月1日
会 場:茨城県市町村会館 1階 講堂
受講者:70名

〈まちづくり委員会〉

○委員会の開催状況

第2回委員会の開催

期 日:令和7年8月6日午後3時

場 所:市町村会館 2階会議室

〈協議事項〉第1回

- ・会員増強運動について
- ・防災に強いまちづくり(常総市)について
- ・その他

○事業活動報告 (活動なし)

【青年委員会】

○委員会の開催状況

第1回委員会の開催

期 日:令和7年4月27日 朝6時30分～

場 所:Zoomによるオンライン会議

…… その他 分科会を1回(6/14)開催

〈協議事項〉

- ・ 50周年記念事業について
- ・ 関プロ青年協「東京大会」について
- ・ 東海村+牛久市の各事業について
- ・ その他

○事業活動報告

①関プロ青年協議会「東京大会」:八王子市 大学セミナーハウス

令和7年5月10日～11日 1都9県約400名参加(茨城から27名参加)

関プロ青年委員会理事による:理事会(青年大会前日に対面開催)

③とうかい子供キャンパス東海村サマーエンジョイスクール 8月5日 東海村「歴史と未来の交流館
「おうち模型を作ろう!!」

小学生 午前の部のみ 22名参加

【女性委員会】

○委員会の開催状況

第1回委員会の開催

期 日:令和7年6月19日 14時～16時30分

場 所:市町村会館 会議室

〈協議事項〉

- ・ R6 収支決算・R7 収支予算案について
- ・ 全.建.女「山形大会」、R7 単独事業について
- ・ セミナーの進め方、次年度女性委員推薦について
- ・ その他

○事業活動報告

◆そば打ち体験と、けんちく汁作り

期 日:令和7年4月19日

場 所:水戸市「森林公園」

参加者;21名参加

◆全国女性建築士連絡協議会

期 日:令和7年7月19日～20日

場 所:山形県「山形テルサ」

参加者;10名参加

各種セミナー

◆ラブアークセミナー

第1回 テーマ:宮大工の仕事

期 日:令和7年5月18日(日)

場 所:土浦市

参加者;25名

第2回 テーマ:「新2号建築物詳細説明」講習会

期 日:令和7年7月5日(土)

場 所:開発公社ビル

参加者:16名

◆わくわくセミナー

第1回 テーマ:曳家について

期 日:令和7年4月24日(木)

場 所:土浦三中地区公民館

参加者:17名

第2回 テーマ:見学会「境町の建築物」

期 日:令和7年5月24日(土)

場 所:境町

参加者:16名

第3回 テーマ:4号特例・構造について

期 日:令和7年6月18日(水)

場 所:土浦三中地区公民館

参加者:26名

第4回 テーマ:住宅の防犯について

期 日:令和7年7月24日(木)

場 所:土浦三中地区公民館

参加者:14名

【CPD委員会】

- 委員会の開催状況
開催なし
- CPD登録者
令和7年度 225名(うち非会員34名)
令和7年度更新 約210名(更新料支払者)
- 専攻建築士
令和7年度更新対象者0名(過去5年間に5名登録更新)

〈委員会以外の活動〉

(1)市町村の空き家対策事業への支援

①空き家無料相談会の支援(支部会員の協力)

- つくば市無料相談会
日時:令和7年7月26日
協力者:筑波支部3名
- 牛久市無料相談会
日時:令和7年6月21日
協力者:竜ヶ崎支部1名
- ひたちなか市無料相談会
日時:令和7年7月27日
協力者:ひたちなか支部1名
- つくばみらい市無料相談会
日時:令和7年7月12日
協力者:筑波支部2名
- 水戸市無料相談会
日時:令和7年11月の計画
協力者:県央支部2名

②特定空き家等判定基礎調査

常総市、石岡市、つくばみらい市、下妻市、行方市から特定空き家等に関する基礎調査、空き家バンク登録補助業務等を受託(各管轄支部で対応)

貸借対照表

令和 7 年 7 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	459,838	190,478	269,360
普通預金	5,510,791	2,841,763	2,669,028
棚卸資産	223,948	206,287	17,661
立替金	27,220		27,220
流動資産 合計	6,221,797	3,238,528	2,983,269
2 固定資産			
(1) 特定資産			
その他積立預金	33,210,775	36,924,435	△3,713,660
運営資金積立預金	24,300,000	28,300,000	△4,000,000
80周年積立預金	1,624,435	1,124,435	500,000
関プロ茨城積立預金	2,286,340	2,500,000	△213,660
災害積立預金	5,000,000	5,000,000	
特定資産 合計	33,210,775	36,924,435	△3,713,660
(2) その他固定資産			
什器備品	426,802	2	426,800
保証金	40,284	40,284	
その他固定資産合計	467,086	40,286	426,800
固定資産 合計	33,677,861	36,964,721	△3,286,860
資産 合計	39,899,658	40,203,249	△303,591
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	39,750	53,498	△13,748
流動負債 合計	39,750	53,498	△13,748
2 固定負債			
運営資金引当金	24,300,000	28,300,000	△4,000,000
80周年資金引当金	1,624,435	1,124,435	500,000
関プロ茨城引当金	2,286,340	2,500,000	△213,660
災害積立引当金	5,000,000	5,000,000	
固定負債 合計	33,210,775	36,924,435	△3,713,660
負債 合計	33,250,525	36,977,933	△3,727,408
III 正味財産の部			
1 一般正味財産	6,649,133	3,225,316	3,423,817
正味財産 合計	6,649,133	3,225,316	3,423,817
負債及び正味財産合計	39,899,658	40,203,249	△303,591

正味財産増減計算書

令和 7 年 4 月 1 日から 令和 7 年 7 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常 増減の部			
(1) 経 常 収 益			
① 受 取 入 会 金	(50,000)	(10,000)	(40,000)
受 取 入 会 金	50,000	10,000	40,000
② 受 取 会 費	(10,508,600)	(10,203,900)	(304,700)
正会員受取会費	6,209,000	5,865,000	344,000
準会員受取会費	129,600	108,900	20,700
賛助会員受取会費	4,170,000	4,230,000	△60,000
③ 事 業 収 益	(10,763,860)	(7,929,539)	(2,834,321)
講習会 収 益	618,670	845,491	△226,821
図書等頒布収益	4,323,758	724,911	3,598,847
事業 受託収益	2,483,132	2,337,177	145,955
手数料 収 益	148,000	99,160	48,840
委員会部会等事業収益	3,190,300	3,922,800	△732,500
④ 受取 補助金等	(322,000)	(0)	(322,000)
受取事業助成金	322,000		322,000
⑤ 雑 収 益	(3,038,091)	(3,438,688)	(△400,597)
受 取 利 息	2,262	9	2,253
雑 収 益	3,035,829	3,438,679	△402,850
経 常 収 益 計	24,682,551	21,582,127	3,100,424
(2) 経 常 費 用			
① 事 業 費			
事 業 経 費	(5,375,518)	(4,119,952)	(1,255,566)
旅 費 交 通 費	442,500	430,137	12,363
通 信 運 搬 費	482,224	538,578	△56,354
消 耗 品 費	95,640	7,591	88,049
印 刷 製 本 費	31,669	363,561	△331,892
賃 借 料	253,550	107,675	145,875
諸 謝 金	71,253	44,548	26,705
支 払 助 成 金	331,500	169,000	162,500
支 払 寄 付 金	230,000	130,000	100,000
委 託 費	198,000	98,128	99,872
図 書 仕 入 費	2,708,412	475,254	2,233,158
諸 会 費	489,383	1,637,125	△1,147,742
交 際 費	17,037	49,225	△32,188
広 告 宣 伝 費		22,000	△22,000
雑 費	24,350	47,130	△22,780
事 業 費 計	5,375,518	4,119,952	1,255,566

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
② 管 理 費			
給 料 手 当	7,408,954	7,255,984	152,970
福 利 厚 生 費	1,534,260	1,480,048	54,212
中 退 金 掛 金	206,340	198,020	8,320
総 会 費	2,063,694	2,161,482	△97,788
理 事 会 費	150,658	163,514	△12,856
諸 会 議 費	901,660	10,000	891,660
連 合 会 費	1,889,930	986,870	903,060
団 体 会 費	93,600	103,200	△9,600
会 計 報 酬	88,000	88,000	
租 税 公 課	1,377,300	923,600	453,700
旅 費 交 通 費	107,596	107,362	234
通 信 運 搬 費	680,461	730,538	△50,077
消 耗 品 費	186,125	136,458	49,667
印 刷 製 本 費	128,480	172,920	△44,440
機 械 借 損 費	651,766	651,722	44
慶 弔 費	606,991	592,607	14,384
家 賃	548,829	548,829	
事 務 所 共 益 費	410,619	410,619	
雑 費	125,515	208,753	△83,238
管 理 費 計	19,160,778	16,930,526	2,230,252
経 常 費 用 計	24,536,296	21,050,478	3,485,818
評価損益等調整前当期経常増減額	146,255	531,649	△385,394
③ 特定資産評価益	(213,660)	(0)	(213,660)
特定資産積立資産評価益	213,660		213,660
特定資産評価損益等	213,660	0	213,660
評価損益等 計	213,660	0	213,660
当期経常増減額	359,915	531,649	△171,734
2 経常外増減の部			
(1) 経常外 収 益			
経常外 収益計	0	0	0
(2) 経常外 費 用			
経常外 費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	359,915	531,649	△171,734
当期一般正味財産増減額	359,915	531,649	△171,734
一般正味財産期首残高	6,289,218	2,693,667	3,595,551
一般正味財産期末残高	6,649,133	3,225,316	3,423,817
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0

(単位：円)

科	目	当 年 度	前 年 度	増 減
	指定正味財産期首残高	0	0	0
	指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ	正味財産期末残高	6,649,133	3,225,316	3,423,817

財 産 目 録

令和 7 年 7 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
I 資 産 の 部		
1 流 動 資 産		
現 金・預 金		
現 金	459,838	
普 通 預 金		
常陽銀行県庁支店	5,058,598	
常陽銀行本店	139,796	
東日本銀行	162,489	
関プロ茨城大会	149,908	
棚 卸 資 産	223,948	
立 替 金	27,220	
流動資産 合計		6,221,797
2 固 定 資 産		
(1) 特 定 資 産		
その他 積立預金		
運営資金積立預金	24,300,000	
80周年積立預金	1,624,435	
関プロ茨城積立預金	2,286,340	
災害積立預金	5,000,000	
特定資産 合計	33,210,775	
(2) その他固定資産		
什 器 備 品	426,802	
保 証 金	40,284	
その他固定資産合計	467,086	
固定資産 合計		33,677,861
資 産 合 計		39,899,658
II 負 債 の 部		
1 流 動 負 債		
預 り 金	39,750	
流動負債 合計		39,750
2 固 定 負 債		
運営資金引当金	24,300,000	
80周年資金引当金	1,624,435	
関プロ茨城引当金	2,286,340	
災害積立引当金	5,000,000	
固定負債 合計		33,210,775
負 債 合 計		33,250,525
正 味 財 産		6,649,133

予算管理表 (令和7年4月1日から令和7年7月31日まで)

※進捗率の目安・・4/12ヶ月 = 33.3%

I 事業活動収支の部

(決算額は税込み額)

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異	率	備 考	
(1) 事業活動収入			(単位：円)					
入会金収入	入会金収入	入会金収入	50,000	50,000	0	100.00	賛助会@10,000×5社	
会費収入	会費収入	正会員会費収入	18,720,000	6,209,000	12,511,000	33.17	@12,000/年・人	
		準会員会費収入	378,000	129,600	248,400	34.29	@10,800/年・人	
		賛助会員会費収入	4,350,000	4,170,000	180,000	95.86	@30,000 (年会費) × 139社 ※年度初めに年会費を納めてもらっているため	
		事業収入	50,788,000	10,763,860	40,024,140	21.19		
講習会収入	講習会収入	法定定期講習会収入	1,000,000	22,670	977,330	2.27	監理員日当 ※委託費は年度後半納入予定	
		指定講習会収入	2,130,000	438,000	1,692,000	20.56	(9/18) 348,000 (2/13) 90,000	
		研修講習会収入	1,340,000	158,000	1,182,000	11.79	4/25県条例講習会140,000 8/28宅地講習会18,000	
		図書等頒布収入	5,280,000	4,323,758	956,242	81.89		
		出版図書収入	3,820,000	2,736,800	1,083,200	71.64	県条例 宅地開発資料集 ※今年度、新刊を発刊したため収入増	
		用紙等頒布収入	10,000	0	10,000	0.00		
		斡旋図書収入	1,400,000	1,570,238	△ 170,238	112.16	法令集 建築申請メモ 建築消防アドバイス 等	
		表示板頒布収入	50,000	16,720	33,280	33.44		
		事業受託収入	事業受託収入	29,658,000	2,483,132	27,174,868	8.37	
		試験受託収入	試験受託収入	3,570,000	2,191,200	1,378,800	61.38	1・2級建築士試験受託費 第1回821,700 第2回1,369,500 ※第3回は12月上旬入金予定
調査受託収入	調査受託収入	3,498,000	0	3,498,000	0.00	建築パトロール委託費 ※年度後半の納入見込み		
判定士認定業務受託収入	判定士認定業務受託収入	3,200,000	0	3,200,000	0.00	応急危険度判定士関係業務委託費 ※年度後半の納入見込み		
事務受託収入	事務受託収入	1,960,000	71,932	1,888,068	3.67	1級免許受付業務受託費71,332 他		
耐震診断派遣業務受託収入	耐震診断派遣業務受託収入	17,430,000	220,000	17,210,000	1.26	空家バンク委託費 ※年度後半の納入見込み		
手数料収入	手数料収入	2,735,000	148,000	2,587,000	5.41			
		二級・木造建築士事務手数料収入	2,735,000	148,000	2,587,000	5.41	新規@24,400×3名・@19,300×0名 書換等@5,900×12名 証明書@400×4名 送料4名 ※12月上旬の合格発表以降の納入予定	
委員会等事業収入	委員会等事業収入	8,645,000	3,190,300	5,454,700	36.90			
		事業収入	8,645,000	3,190,300	5,454,700	36.90	CPD登録料・更新料等1,272,700 総会936,000 ゴルフ大会452,500 関プロ会長会理事会懇親会費366,000 関プロ青年協議会116,400 他	
補助金等収入	事業助成金収入	500,000	322,000	178,000	64.40			
		連合会助成金収入	500,000	322,000	178,000	64.40	関プロ会長会理事会助成金 ※連合会助成金は年度末納入予定	
雑収入	雑収入	7,840,000	3,038,091	4,801,909	38.75			
		受取利息収入	0	2,262	△ 2,262	0.00	普通預金・定期預金 利息	
		雑収入	7,840,000	3,035,829	4,804,171	38.72		
		資料発送支部負担金収入	3,240,000	791,364	2,448,636	24.42	支部より毎月の発送費収入593,364 企業PRチラシ同封サービス料198,000	
		広告・協賛金収入	4,100,000	2,155,000	1,945,000	52.56	苗木事業1,000,000 苗木事業広告550,000 けんちく茨城広告155,000 パナー広告230,000 県条例広告220,000	
		雑収入	500,000	89,465	410,535	17.89	送料77,570 他	
事業活動収入計(A)			82,626,000	24,682,551	57,943,449	29.87		

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異	率	備	考
(2) 事業活動支出			(単位：円)					
事業費支出			40,572,000	5,375,518	35,196,482	13.25		
	講習会費支出		2,059,000	321,713	1,737,287	15.62		
		法定定期講習会費支出	390,000	181,224	208,776	46.47	(6/10) 109,700	案内発送料71,524
		指定講習会費支出	1,163,000	95,284	1,067,716	8.19		案内発送料 ※年度後半の支出見込み
		研修講習会費支出	506,000	45,205	460,795	8.93		4/25県条例講習会
	けんちく茨城印刷費支出		1,000,000	4,290	995,710	0.43		案内発送料
	情報通信普及推進費支出		260,000	157,300	102,700	60.50		H P作成費
	C P D制度推進費支出		207,000	37,290	169,710	18.01		カード作成費5,280 案内発送料19,010 CPDキャッシュバック13,000
	委託事業費支出		19,596,000	551,181	19,044,819	2.81		
		調査業務実施費支出	2,872,000	0	2,872,000	0.00		建築パトロール委託費 ※年度後半の支出見込み
		応急危険度判定士認定業務費支出	900,000	3,000	897,000	0.33		印紙代 ※年度後半の支出見込み
		試験業務実施費支出	500,000	239,222	260,778	47.84		建築士試験学科231,951 備品代7,271
		事務受託支出	1,010,000	103,609	906,391	10.26		2級免許作成費24,189 木耐震養成講習会35,420 ICBA44,000 ※年度後半の支出見込み
		耐震診断派遣業務委託費支出	14,314,000	205,350	14,108,650	1.43		空家バンク委託費(行方市) ※年度後半の支出見込み
	普及宣伝費支出		850,000	151,041	698,959	17.77		
		対社会的事業費支出	350,000	100,000	250,000	28.57		ゴルフチャリティー金
		会員増強促進費支出	200,000	51,041	148,959	25.52		会員証作成費2,200 会員増加表彰20,000 入会案内発送料28,841
		広報費支出	300,000	0	300,000	0.00		新聞広告掲載料
	研修費支出		4,130,000	435,405	3,694,595	10.54		
		研修費支出	650,000	6,000	644,000	0.92		日帰り見学会(11月3日開催) ※年度後半の支出見込み
		親睦事業費支出	3,480,000	429,405	3,050,595	12.34		ゴルフ大会205,700 納涼会15,510 美術展208,195
	委員会費支出		1,200,000	227,314	972,686	18.94		各委員会の旅費156,000 会計監査39,137 会場費・会議水代32,177
	青年女性委員会費支出		3,560,000	594,573	2,965,427	16.70		青年(関プロ大会等)307,721 女性(各セミナー等)286,852
	助成金支出		770,000	0	770,000	0.00		文化賞・学生賞 全国大会助成金
	賛助会活動費支出		200,000	43,699	156,301	21.85		幹事会・全体会議経費
	まちづくり活動費支出		690,000	0	690,000	0.00		ガイドマップ打合せ
	出版事業費支出		4,150,000	2,708,412	1,441,588	65.26		
		図書製本費支出	2,700,000	1,235,740	1,464,260	45.77		県条例 宅地開発資料集
		法令用紙作成費支出	0	0	0	0.00		
		斡旋図書仕入費支出	1,400,000	1,472,672	△ 72,672	105.19		
		表示板仕入費支出	50,000	0	50,000	0.00		表示板
	地域貢献活動費支出	地域貢献活動費支出	1,900,000	143,300	1,756,700	7.54		その他寄付金等 ※苗木代は年度後半の支出見込み
管理費支出			49,518,000	19,160,778	30,357,222	38.69		
	給料手当支出		19,940,000	7,408,954	12,531,046	37.16		
		給料支出	14,320,000	4,814,430	9,505,570	33.62		4月～7月分
		手当支出	5,620,000	2,594,524	3,025,476	46.17		4月～7月分・賞与1回
	中退金掛金支出		648,000	206,340	441,660	31.84		退職金積立
	福利厚生費支出		3,700,000	1,534,260	2,165,740	41.47		社会保険1,075,286 労働保険364,202 他
	会議費支出		4,480,000	3,116,012	1,363,988	69.55		
		総会費支出	2,200,000	2,063,694	136,306	93.80		5/30開催(令和7年度通常総会)
		理事会費支出	680,000	150,658	529,342	22.16		旅費109,000 会場費等41,658
		諸会議費支出	1,600,000	901,660	698,340	56.35		4/11関プロ会長会理事会懇親会費

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異	率	備	考
管理費支出(つづき)	会計報酬支出		270,000	88,000	182,000	32.59	報酬額:月22,000円	
	租税公課費支出		1,800,000	1,377,300	422,700	76.52	県民税・市民税 消費税	
	負担金支出		6,560,000	1,983,530	4,576,470	30.24		
		連合会費支出	5,860,000	1,889,930	3,970,070	32.25	4月~7月分@290円	
		関プロ会費支出	400,000	0	400,000	0.00	年会費	
		団体会費支出	300,000	93,600	206,400	31.20	建築関係団体交流会40,000 やみぞの森30,000 他団体23,600	
	旅費交通費支出		550,000	107,596	442,404	19.56	ガソリン代33,524 会長・役員、事務局員出張費74,072	
	通信運搬費支出		3,000,000	680,461	2,319,539	22.68	メール便554,920 電話・FAX69,267 宅急便代42,842 他	
	什器備品費支出		450,000	0	450,000	0.00		
	消耗品費支出		1,050,000	186,125	863,875	17.73	コピー用紙代79,200 印刷機インク代78,793 事務用品28,132	
	印刷製本費支出		400,000	128,480	271,520	32.12	封筒印刷代	
	慶弔費支出		1,900,000	606,991	1,293,009	31.95	香典・花環(会員4名 家族13) 祝い金(会員結婚0件 他団体7件) 見舞金1件 会費4件 電報料	
	家賃支出		1,100,000	548,829	551,171	49.89	会館家賃(半年分)	
	事務所共益費支出		820,000	410,619	409,381	50.08	会館共益費(半年分)	
	機械借損費支出		2,250,000	651,766	1,598,234	28.97	車リース・保険料150,252 コピー機チャージ料44,354 コピー機リース料53,240 印刷機リース料289,520 電話リース料58,080 HOMEセキュリティ38,720 他	
	雑支出		600,000	125,515	474,485	20.92	振込手数料21,670 貸金庫利用料15,180 お中元46,280 他	
予備費支出	予備費支出		2,560,984	0	2,560,984	0.00		
事業活動支出計(B)			92,650,984	24,536,296	68,114,688	26.48		
①事業活動収支差額(A)-(B)			△ 10,024,984	146,255	△ 10,171,239	△ 1.46		

II 投資活動収支の部

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異	率	備	考
(1) 投資活動収入			(単位:円)					
特定資産取崩収入	積立預金収入		4,500,000	213,660	4,286,340	4.75		
		運営資金積立資金取崩収入	4,000,000	0	4,000,000	0.00		
		80周年積立資金取崩収入	0	0	0	0.00		
		関プロ茨城大会積立資金取崩収入	500,000	213,660	286,340	42.73	7/23実行	
投資活動収入計(C)			4,500,000	213,660	4,286,340	4.75		
(2) 投資活動支出								
特定資産取得支出	積立預金取得支出		500,000	0	500,000	0.00		
		運営資金積立預金取得支出	0	0	0	0.00		
		80周年積立預金取得支出	500,000	0	500,000	0.00		
		関プロ茨城積立預金取得支出	0	0	0	0.00		
		災害積立金支出	0	0	0	0.00		
固定資産取得支出	什器備品購入支出		0	426,800	△ 426,800			
		什器備品購入支出	0	426,800	△ 426,800	0.00	パソコン購入(2台)	
投資活動支出計(D)			500,000	426,800	73,200	85.36		
②投資活動収支差額(C)-(D)			4,000,000	△ 213,140	4,213,140	△ 5.33		

III 財務活動収支の部

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異	率	備	考
(1) 財務活動収入			(単位:円)					
財務活動収入計(E)			0	0	0			
(2) 財務活動支出								
財務活動支出計(F)			0	0	0			
③投資活動収支差額(E)-(F)			0	0	0			
④当期収支差額①+②+③			△ 6,024,984	△ 66,885	△ 5,958,099		4月~7月分の収支差額	
⑤前期繰越収支差額			6,024,984	6,024,984	0	100.00	前期(令和6年度)からの繰越額	
次期繰越収支差額④+⑤			0	5,958,099	△ 5,958,099		8月への繰越額	

令和7年度 新入会員の一覧【正会員 and 賛助会員】

資料-5

【正会員16名、賛助会員5社】

No	支部名	氏名	勤務先	紹介者	紹介者の役職	備考
1	県庁	荘司 泰久	(一財)茨城県建築センター	柴 和伸	会長	社員
2	賛助会	茨城県鐵構工業協同組合		柴 和伸	会長	関係団体
3	賛助会	茨城県塗装工業組合		柴 和伸	会長	関係団体
4	賛助会	(公社)日本建築家協会 関東甲信越支部 茨城地域会		柴 和伸	会長	関係団体
5	筑波	竹田 陽市	(株)相澤建築設計事務所	相澤 晴夫	副会長	所員
6	筑波	山形 郁夫	(株)相澤建築設計事務所	相澤 晴夫	副会長	所員
7	県央	櫻井 郁美	SaCRAFT建築設計事務所	石黒 洋子	総務委員	知人
8	県央	平戸 豊	(株)石川建築研究所	石川 啓司	支部常務	所員
9	県央	関 勇太	KITAI建築設計事務所	石井 邦明	研修委員	知人
10	鹿島	久米 健一	(株)高正建設	高橋 文男	まちづくり委員	社員
11	土浦	児玉 理文	あや設計 一級建築士事務	石坂 健一	元支部長	取引事務所
12	県央	大橋 美幸	果実建築設計室	滑川 浩一	相談役	取引事務所
13	県庁	萩元 悠文	(株)安心確認検査機構	舞木 善郎	安心確認の役員	社員
14	筑波	戸塚 かおり	(株)安心確認検査機構	若柳 綾子	ヘリテージ	取引事務所
15	筑波	加藤 侑	(株)若柳建築事務所	若柳 綾子	ヘリテージ	所員
16	石岡	小田 邦江	(有)ナオ工総合設計	菊池 直衛	元副支部長	所員
17	日立	櫻岡 佳太	(株)白土工務店	先輩と交代	先輩	社員
18	県央	四ツ倉 昌佳	鈴縫工業(株)	先輩と交代	先輩	社員
19	竜ヶ崎	柳町 龍哉	(株)柳建設	先輩と交代	先輩	社員
20	賛助会	昭和工機(株)		設備設計協会の会員		
21	賛助会	宇賀神電機(株)茨城営業所		設備設計協会の会員		

建築士事務所の所属建築士 インターネット検索結果

No	TEL依頼	事務所名	建築士数	会員	地域	備考
1	---	増山設計	13人	13	土浦	入会が就職の条件 + 準会員が2名
2	---	柴設計	8人	10	水戸	
3	---	相澤設計	8人	8	つくば	
4	---	根本(洋)設計:	8人	8	水戸	
5	---	パール設計	7人	7	水戸	
6	---	三上事務所	18人	7	水戸	
7	---	須藤設計	6人	6	土浦	入会が条件(けんばい加入の為)
8	---	里山建築研究所	5人	5	つくば	
9	---	根本英設計:裕子	4人	4	土浦	
10	7/4済み	桜設計	9人		水戸	
11	7/7済み	市毛設計	7人		水戸	
12	7/7済み	早川設計	6人		水戸	
13	7/7済み	戸頃設計	5人		水戸	
14	7/7済み	横須賀設計	9人		水戸	
15	7/7済み	大野設計	5人		土浦	
16	7/8済み	長塚設計	7人		古河	
17	7/8済み	吉田建築計画	5人		石岡	支部長へ依頼。藤岡・友水も
18	7/8済み	ジュン設計:塚本	4人		土浦	
19	7/8済み	荻設計	5人		水戸	
20	7/8済み	匠工房	4人		つくば	7/8稔子へ依頼
21	7/8済み	EOS建築事務所	4人		水戸	大部→天氏へ依頼
22	7/8済み	若柳設計	7人		つくば	
23	7/8済み	オセヤ設計	5人		ひたちなか	
24		エイプラスデザイン	9人		水戸	
25	8/20済み	and HAND設計	8人		つくば	飯島支部長
26		河野設計	5人		つくば	協会長
27		青山設計	6人		土浦	元協会副会長
28		サカイ設計	7人		鉾田	酒井建設
29		MLAND建築デザイン	5人		牛久市	
30		KUNO建築事務所	5人		水戸	
31		A-1建築事務所	4人		行方	
32	3人事務所 ・・・匠、ヤマト、羽石、汎連合、中、カナザワ、金田、藤井、					大
33	山、ムーブ、コスモ総合、常総開発まで 3人事務所					
34		日立建設設計	13人		ひたちなか	
35		棟匠	12人		水戸	
36		不二建設	13人		龍ヶ崎	
37		常磐建設	11人		龍ヶ崎	
38		大賀建設	10人		つくば	
39		菅原建設	7人		水戸	
40		令和建設	5人		守谷市	
41		大勝建設	5人		神栖市	
42		黒川建設	4人		日立	
43		葵建設	4人		つくば	

年 度	会員数	入会者数	退会者数	差引き	備考-2
					免許交付式の入会者
平成6年度	3,232				
平成7年度	3,228				
平成8年度	3,208				一級22+二級9
平成9年度	3,212	186	182	+4	91名入会
平成10年度	3,152	131	191	▲ 60	83名入会
平成11年度	3,087	115	180	▲ 65	91名入会
平成12年度	3,017	124	194	▲ 70	98名入会
平成13年度	2,902	119	234	▲ 115	67名入会
平成14年度	2,856	156	202	▲ 46	68名入会
平成15年度	2,804	134	186	▲ 52	40名入会
平成16年度	2,781	146	168	▲ 22	21名入会
平成17年度	2,803	187	170	+17	25名入会
平成18年度	2,747	132	170	▲ 38	22名入会
平成19年度	2,724	123	156	▲ 33	7名入会
平成20年度	2,696	113	131	▲ 18	17名入会
平成21年度	2,594	103	153	▲ 50	12名入会
平成22年度	2,517	84	161	▲ 77	7名入会
平成23年度	2,442	80	155	▲ 75	5名入会
平成24年度	2,395	72	119	▲ 47	数名入会
平成25年度	2,314	53	126	▲ 73	数名入会
平成26年度	2,275	66	105	▲ 39	数名入会
平成27年度	2,199	66	140	▲ 74	数名入会
平成28年度	2,123	46	122	▲ 76	数名入会
平成29年度	2,077	51	97	▲ 46	数名入会
平成30年度	2,033	56	92	▲ 36	入会者 0名
令和元年度	1,979	47	101	▲ 54	交付式は中止(廃止)
令和2年度	1,911	24	92	▲ 68	コロナ禍
令和3年度	1,840	20	91	▲ 71	コロナ禍
令和4年度	1,787	40	93	▲ 53	コロナ禍
令和5年度	1,706	26	106	▲ 80	
令和6年度	1,648	37	95	▲ 58	
令和7年度	1,633	17	32	▲ 15	
合計	H9年~R6年迄	2,649	4,185	▲ 1,558	

会員数の増減 比較 (H10年と、R7年3月の比較)

順位	士会名	H10年末	士会名	20年末	士会名	R4年3月	士会名	R7年3月	士会名	R7年6月	順位	都道府県	総人口
1	東京	8,510	東京	7,300	東京	4,970	東京	4,560	東京	4,350	1	東京都	14,047,594
2	北海道	7,843	北海道	5,487	北海道	3,675	北海道	3,431	北海道	3,483	2	神奈川県	9,237,337
3	愛知	7,350	愛知	5,185	愛知	3,430	愛知	3,100	愛知	3,020	3	大阪府	8,837,685
4	大阪	7,005	大阪	3,900	大阪	2,455	大阪	2,170	大阪	2,150	4	愛知県	7,542,415
5	長野	4,545	長野	3,480	神奈川	2,208	神奈川	2,013	福岡	1,980	5	埼玉県	7,344,765
6	神奈川	4,220	神奈川	3,440	長野	2,192	福岡	2,010	神奈川	1,950	6	千葉県	6,284,480
7	新潟	3,943	茨城	2,702	福岡	2,135	長野	1,951	長野	1,889	7	兵庫県	5,465,002
8	福島	3,534	新潟	2,683	茨城	1,866	鹿児島	1,673	鹿児島	1,652	8	北海道	5,224,614
9	山口	3,500	福岡	2,607	新潟	1,839	茨城	1,669	茨城	1,622	9	福岡県	5,135,214
10	兵庫	3,364	静岡	2,590	鹿児島	1,838	新潟	1,609	広島	1,590	10	静岡県	3,633,202
11	広島	3,280	山口	2,525	広島	1,720	広島	1,575	千葉	1,517	11	茨城県	2,867,009
12	千葉	3,268	広島	2,460	千葉	1,676	千葉	1,545	山口	1,511	12	広島県	2,799,702
13	静岡	3,214	千葉	2,425	山口	1,675	山口	1,526	新潟	1,493	13	京都府	2,578,087
14	群馬	3,208	福島	2,416	福島	1,571	愛媛	1,390	愛媛	1,368	14	宮城県	2,301,996
15	茨城	3,185	鹿児島	2,344	岩手	1,463	福島	1,371	福島	1,329	15	新潟県	2,201,272
16	福岡	3,175	兵庫	2,281	愛媛	1,449	岩手	1,295	岩手	1,233	16	長野県	2,048,011
17	鹿児島	2,964	岩手	2,095	兵庫	1,445	兵庫	1,267	香川	1,225	17	岐阜県	1,978,742
18	岩手	2,752	富山	2,150	京都	1,370	香川	1,245	兵庫	1,209	18	群馬県	1,939,110
19	富山	2,660	群馬	2,083	香川	1,365	熊本	1,210	熊本	1,195	19	栃木県	1,933,146
20	宮城	2,620	京都	1,980	熊本	1,320	埼玉	1,202	和歌山	1,194	20	岡山県	1,888,432
21	秋田	2,463	埼玉	1,900	埼玉	1,300	和歌山	1,200	埼玉	1,184	21	福島県	1,833,152
22	愛媛	2,462	熊本	1,800	富山	1,295	岡山	1,178	岡山	1,134	22	三重県	1,770,254
23	京都	2,426	香川	1,745	岡山	1,288	京都	1,142	京都	1,117	23	熊本県	1,738,301
24	岡山	2,400	石川	1,702	群馬	1,282	群馬	1,134	石川	1,113	24	鹿児島県	1,588,256
25	熊本	2,380	栃木	1,782	石川	1,249	島根	1,130	島根	1,110	25	沖縄県	1,467,480
26	埼玉	2,370	岐阜	1,672	和歌山	1,235	栃木	1,114	栃木	1,100	26	滋賀県	1,413,610
27	栃木	2,307	愛媛	1,629	栃木	1,210	富山	1,090	群馬	1,100	27	山口県	1,342,059
28	石川	2,248	岡山	1,682	島根	1,210	静岡	1,090	富山	1,041	28	愛媛県	1,334,841
29	香川	2,105	宮崎	1,571	静岡	1,205	石川	1,063	静岡	1,035	29	奈良県	1,324,473
30	徳島	2,074	秋田	1,522	大分	1,089	大分	1,040	大分	1,035	30	長崎県	1,312,317
31	大分	2,042	宮城	1,530	徳島	1,046	青森	935	秋田	909	31	青森県	1,237,984
32	宮崎	2,024	大分	1,418	岐阜	1,033	徳島	927	徳島	905	32	岩手県	1,210,534
33	長崎	1,999	島根	1,300	青森	1,016	秋田	922	岐阜	878	33	石川県	1,132,526
34	岐阜	1,940	長崎	1,368	長崎	1,004	長崎	920	長崎	873	34	大分県	1,123,852
35	島根	1,900	和歌山	1,320	秋田	1,003	岐阜	903	宮崎	869	35	宮城県	1,069,576
36	青森	1,729	青森	1,358	宮崎	992	宮崎	892	山梨	860	36	山形県	1,068,027
37	福井	1,710	山梨	1,330	沖縄	955	山梨	875	佐賀	860	37	富山県	1,034,814
38	鳥取	1,627	山形	1,345	山梨	935	佐賀	869	青森	855	38	秋田県	959,502
39	山形	1,593	福井	1,310	佐賀	907	沖縄	846	沖縄	829	39	香川県	950,244
40	奈良	1,571	三重	1,228	福井	903	福井	834	高知	805	40	和歌山県	922,584
41	滋賀	1,557	滋賀	1,229	高知	892	高知	818	福井	800	41	佐賀県	811,442
42	山梨	1,521	奈良	1,190	山形	885	山形	799	山形	782	42	山梨県	809,974
43	三重	1,482	徳島	1,171	宮城	853	宮城	687	三重	678	43	福井県	766,863
44	和歌山	1,465	高知	1,120	奈良	777	奈良	686	滋賀	662	44	徳島県	719,559
45	高知	1,411	佐賀	1,062	滋賀	770	三重	686	宮城	652	45	高知県	691,527
46	佐賀	1,376	鳥取	1,010	三重	740	滋賀	677	奈良	636	46	島根県	671,126
47	沖縄	1,060	沖縄	895	鳥取	668	鳥取	585	鳥取	575	47	鳥取県	553,407
	合計	126,872	合計	100,322	合計	69,404	合計	62,854		61,357			126,146,099
		△ 15,000		△ 26,550		△ 28,682		△ 6,550		△ 1,497			
		4年前より		10年前より		13年前より		3年前より		R7.3月より			

大納涼会の変遷									収支の状況			備考
単独・ 合同	回数	とき	曜日	ところ	参加数	うち、 賛助会	一般 会費	青年・ 女性	収入	支出	差額	
士会の 単独	第1回	H18.8.23	(水)	水戸市:三の丸ホテル	135	52	5千円	3千円	¥659,000	¥684,172	▲ 25,172	賛助会企業と、士会役員との親睦 を目的として開催。 ジャズ生演奏(4万)
	第2回	H19.8.29	(水)	水戸市:三の丸ホテル	133	53	5千円	3千円	¥626,000	¥742,645	▲ 116,645	ジャズうるさい為、食事+20食
	第3回	H20.8.27	(水)	水戸市:テラスサガ-デン	158	50	5千円	3千円	¥753,000	¥1,105,212	▲ 352,212	参加者150名を超えた
	第4回	H21.8.27	(水)	水戸市:テラスサガ-デン	188	67	5千円	3千円	¥904,000	¥1,295,887	▲ 391,887	お料理75%で注文
	第5回	H22.8.18	(水)	水戸市:テラスサガ-デン	179	50	5千円	3千円	¥833,000	¥1,335,787	▲ 502,787	顧問(県会)3名出席
合同 第1回	第6回	H23.7.22	(金)	水戸市:テラスサガ-デン	188	86	5千円	3千円	¥1,020,000	¥1,412,370	▲ 392,370	事務所協会と合同(収支も折半)
合同 第2回	第7回	H24.7.27	(金)	水戸市:テラスサガ-デン	202	94	5千円	3千円	¥1,100,000	¥1,376,260	▲ 276,260	協会の当番(収支も折半)
合同 第3回	第8回	H25.7.26	(金)	水戸市:テラスサガ-デン	211	96	5千円	3千円	¥1,130,000	¥1,376,940	▲ 246,940	士会の当番 来賓9名(収支折半)
合同 第4回	第9回	H26.7.25	(金)	水戸市:テラスサガ-デン	213	47	5千円	3千円	¥1,135,000	¥1,479,500	▲ 344,500	協会の当番 来賓10名(収支折半)
合同 第5回	第10回	H27.7.24	(金)	水戸市:テラスサガ-デン	219	68	5千円	3千円	¥1,207,575	¥1,301,150	▲ 93,575	士会の当番 来賓8名(収支折半)
合同 第6回	第11回	H28.7.29	(金)	水戸市:テラスサガ-デン	241	114	5千円	3千円	¥1,112,000	¥1,275,990	▲ 163,990	協会が、当番(折半 169,495)
合同 第7回	第12回	H29.7.28	(金)	水戸市:テラスサガ-デン	223	112	5千円	3千円	¥1,092,000	¥1,390,520	▲ 298,520	士会が、当番(折半 125,260)
合同 第8回	第13回	H30.7.27	(金)	水戸市:テラスサガ-デン	216	111	5千円	3千円	¥1,055,000	¥1,450,560	▲ 395,560	協会が、当番(折半 197,780)
合同 第9回	第14回	R1.7.26	(金)	水戸市:テラスサガ-デン	215	115	5千円	3千円	¥1,027,000	¥1,409,520	▲ 382,520	士会が、当番(折半 191,260)
合同 第10回	第15回	R2.7.17	(金)	水戸市:テラスサガ-デン	中止	—	5千円	3千円			0	協会が、当番
合同 第10回	第15回	R3.7.16	(金)	水戸市:テラスサガ-デン	中止	—	5千円	3千円			0	協会が、当番
合同 第10回	第15回	R4.7.15	(金)	水戸市:テラスサガ-デン	中止	—	5千円	3千円			0	協会が、当番
合同 第10回	第15回	R5.7.14	(金)	水戸市:テラスサガ-デン	181	102	5千円	3千円	¥922,000	¥1,240,000	▲ 318,000	協会が、当番(折半 159,780)
合同 第11回	第16回	R6.7.12	(金)	水戸市:テラスサガ-デン	179	90	6千円	4千円	¥1,086,000	¥1,278,440	▲ 192,440	士会が当番(折半 96,220円)
合同 第12回	第17回	R6.7.11	(金)	水戸市:テラスサガ-デン	181	97	6千円	4千円	¥1,118,000	¥1,267,150	▲ 149,150	協会が当番(折半 74,575円)

令和6年7月12日(金) 16時集合 **納涼会**における企業PR 申込みリスト (5社まで) 17時 開演

No	賛助会員 企業名	封入チラシ等	電 話	ご担当	納涼会
1	ビルトマテリアル(株)	金属屋根、金属外壁材、自社成型品のPR	090-4056-4907 03-3460-3118	深澤	2名 参加
2	大阪ガスケミカル(株)	キシラデコール シリーズの紹介	080-3245-8281	小磯 克也	1名 参加
3	(株)森久	カタログ	0299-56-4474	佐藤 栄作	1名 参加
4	アイジー工業(株)	金属サイディングの出展	080-3339-2687	斯波(しば)大貴	1名 参加

大会概要

テーマ

建築からソーシャルデザインへ

会場…グランキューブ大阪 (大阪府立国際会議場)
(大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51)

期日…令和7年9月19日(金)

主催…公益社団法人 日本建築士会連合会

共催…建築士会近畿ブロック会
(滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山)

主管…公益社団法人 大阪府建築士会



会場…グランキューブ大阪



住吉大社



住吉大社反橋 (太鼓橋)



大阪城



大阪市中央公会堂



四天王寺



大阪中之島美術館



あべのハルカス



檜尾山観心寺



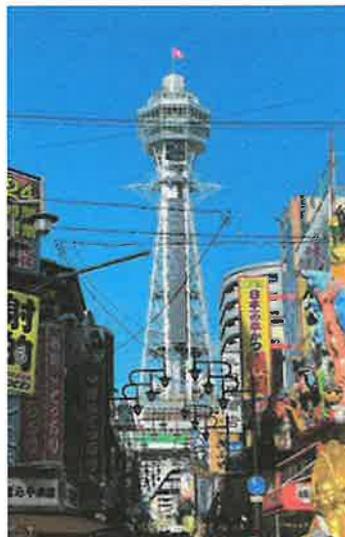
道頓堀



箕面の滝



綿業会館



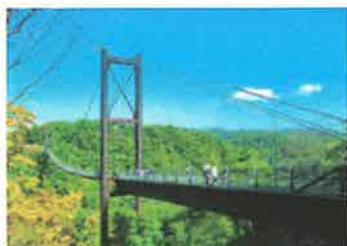
通天閣



仁徳天皇陵古墳 (大仙古墳)



梅田スカイビル



星のブランコ



グラングリーン大阪

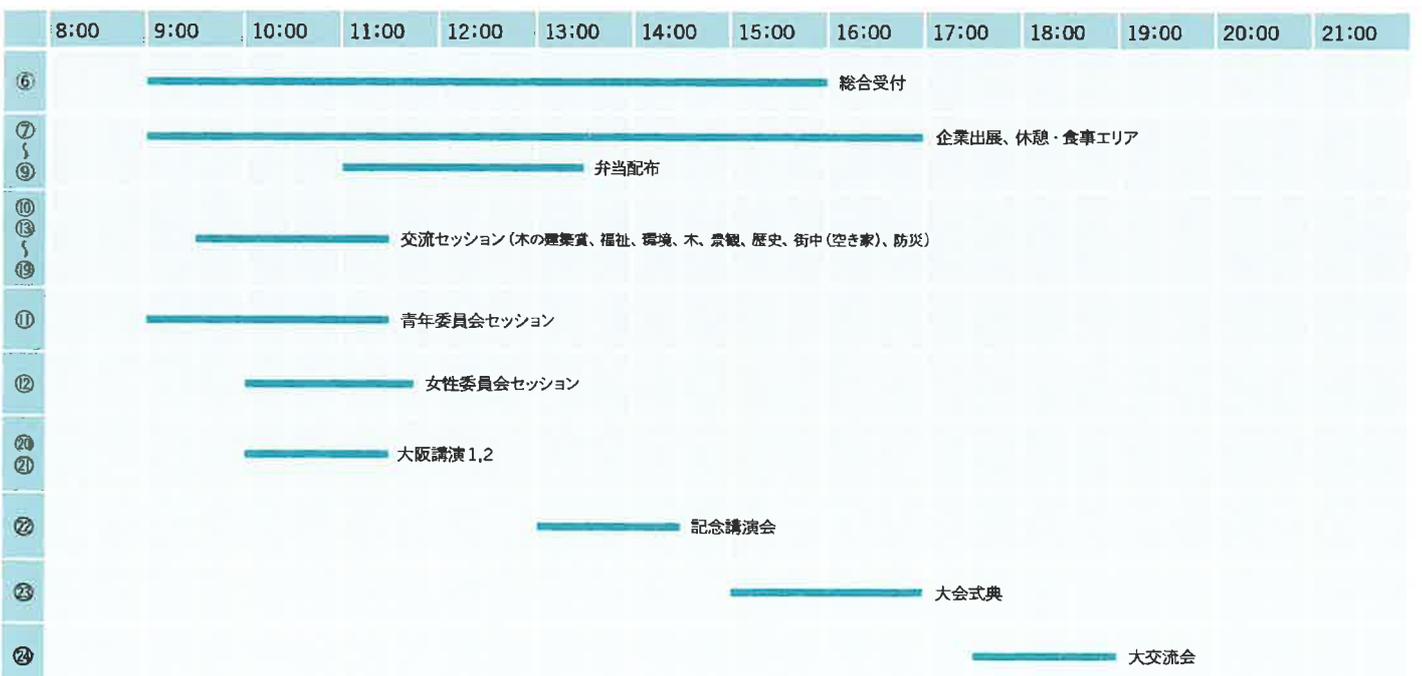
主なスケジュール

9月18日(木) 大会前日

プログラム	時間	場所	グランキューブ大阪(大阪府立国際会議場)
① 記者会見	13:30~14:30		会議室1201
② 連合会理事・士会長合同会議	15:00~17:00	12階	特別会議場
③ まちづくり賞発表&選考会	13:00~17:00		会議室1009
④ 全国建築士フォーラム	14:00~17:00	10階	会議室1001、1002
⑤ 全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会総会	13:30~18:00	別会場	大阪市中央公会堂

9月19日(金) 大会当日

プログラム	時間	場所	グランキューブ大阪(大阪府立国際会議場)
⑥ 総合受付	9:00~16:00		
⑦ 企業出展	9:00~17:00		
⑧ 休憩・食事エリア	9:00~17:00	3階	イベントホール
⑨ 弁当配布	11:00~13:30		
⑩ 木の建築賞セッション	9:30~11:30	11階	会議室1101、1102
⑪ 青年委員会セッション	9:00~11:30		会議室1001、1002
⑫ 女性委員会セッション	10:00~11:50		会議室1004
⑬ 福祉まちづくりセッション	9:30~11:30		会議室1005
⑭ 環境部会セッション	9:30~11:30	10階	会議室1006
⑮ 木のまちづくりセッション	9:30~11:30		会議室1007
⑯ 景観まちづくりセッション	9:30~11:30		会議室1008
⑰ 歴史まちづくりセッション	9:30~11:30		会議室1009
⑱ 街中(空き家)まちづくりセッション	9:30~11:30	8階	会議室801、802
⑲ 防災まちづくりセッション	9:30~11:30	7階	会議室701、702
⑳ 大阪講演-1	10:00~11:30	12階	特別会議場
㉑ 大阪講演-2	10:00~11:30	10階	会議室1003
㉒ 記念講演会	13:00~14:30		
㉓ 大会式典	15:00~17:00	5階	メインホール
㉔ 大交流会	17:30~19:00	別会場	リーガロイヤルホテル大阪



建築士会全国大会「鹿児島・大阪大会」参加登録状況

支部名	大阪	鹿児島
久 慈	1	3
高 萩	1	0
日 立	6	6
鹿 島	2	2
県 央	10	9
古河さしま	8	0
桜 川	11	6
下 妻	1	0
常 総	3	3
筑 西	4	1
結 城	8	0
石 岡	8	5
稲 敷	1	0
筑 波	10	10
土 浦	4	9
会 長	1	1
事務局	1	1
合 計	80	57

令和7年度 建築士会の主な事業日程(月別) R7.8.19 現在



資料-8

月	日時	曜日		事業名	会場
8	21	木	52	定期講習	研修センター
	23	土	50	第15回ボウリング大会	大学ポウル 水戸
	27	水	40	理事会・支部長会・・・28.木 × → 27.水 ◎ に変更	市町村会館
	28	木	27	改正 宅地開発関係資料集、盛土規制法などの講習会	市町村会館
9	11	木	39	定期講習	研修センター
	14	日	244	二級建築士「製図試験」	水戸市内
	18	木	38	知事指定講習「建築士会 技術講習会」	開発公社4階
	19	金	80	第67回全国大会「大阪大会」二次募集・・・7/31迄延長	大阪市「グランキューブ大阪」
	25	木	4	わくわくセミナー「LIXIL バストープの話聞く」	LIXILつくば ショールーム
10	1	水	9	応急危険度判定士養成講習会	県庁9階講堂
	4	土	20,000	建設フェスタ	笠松運動公園
	5	日	22	奥久慈漆見学と漆塗り体験(茨城のうるしを知ろう)・・・あと3名	常陸大宮市
	12	日		一級・木造建築士「製図試験」	水戸市内
	21	火	4	監理技術者講習	市町村会館
11	3	月		第33回日帰り見学会	成田～佐原
	15	土		青年委員会50周年記念式典	水戸市内
	18	火		総務企画委員会	市町村会館 (予約済み)
	27	木		理事会・支部長会	市町村会館 (予約済み)
12	2	火		二級・木造建築士試験「製図試験の合格発表」	普及センター、建築士会
	17～18	水～木		建築士免許 一斉受付 (二級・木造)	建築会館
	24	水		一級建築士試験「製図試験の合格発表」	普及センター、建築士会
1	20～21	火～水		建築士免許 一斉受付 (一級/二級/木造)	建築会館
	30	金		第21回賀詞交歓会	ホテルレイクビュー水戸
	20～31	火～土	約950点検	建築パトロール事業 19支部20地区35市町村52班	県内
2	13	金	11	知事指定講習「建築士会 技術講習会」	研修センター
	19	木		PM～支部事務局会議	ウエストヒルズ水戸
3	17	火		総務企画委員会	市町村会館
	26	木		理事会・支部長会	市町村会館

※ 状況により、中止・延期・縮小開催、Web、・リモート事業や想定外の変更もあるかも知れません。

☆ 主な行事予定については、様々な事情により予告なく変更する場合がございます

“建築士会 技術講習会” (士法第22条の4第5項)

茨城県告示1455号の指定講習(ご注意…士法22条の2とは別の講習です) ★事務所更新に合わせて5年に一度は受講しましょう

主催：(一社)茨城県建築士会
(公社)日本建築士会連合会
後援：(一社)茨城県建設業協会
(一社)茨城県建築士事務所協会
(一財)茨城県建築センター

日 時：①.令和7年9月18日(木) 午前9時40分～午後3時50分 (受付:午前9時10分～)
②.令和8年2月13日(金) 午前9時40分～午後3時50分 (受付:午前9時10分～)

会 場：①.茨城県開発公社ビル 水戸市笠原町978-25 (TEL:029-301-7003)
②.茨城県建設技術研修センター 水戸市青柳町4193 (TEL:029-228-3881)

募集人員：先着150名 (テキストは受講者のみ講習会の当日に配布します)

受講料：士会員 … 12,000円 非会員 … 15,000円 (受講料・テキスト代・税込み)

申込方法：下記の申込書に必要事項を記入し、FAXまたはe-mailにてお申込み下さい

FAX：029-305-0330 e-mail：kyy05413@nifty.com
〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館 2階 (TEL: 029-305-0329)
(一社)茨城県建築士会 技術講習会係 宛て

受講料は受講日の1ヶ月までに、お振込み又は事務局窓口にて現金でお支払い願います。

◎振込先 ・郵便局 ⇒ 00120-8-59384 口座名：一般社団法人茨城県建築士会
・銀行から振込み ⇒ ゆうちょ銀行 〇一九(ゼロイチキユウ)店 当座 0059384

※お振込み手数料は、お客様ご負担でお願いします。

※ご入金後のキャンセルは、受講料を返金いたしませんのでご注意ください

◎建築士事務所登録の更新を【令和7年9月18日～令和8年9月17日】までに申請される方は、

①.今回の受講証明書が添付書類として有効です。(誓約書を提出済みの方も対象です)

事務所の更新が【令和8年2月13日～令和9年2月12日】の方は ②.令和8年2月13日(金)の講習です

◎受講券は受講料の納入確認後、受講日の一週間前までにFAXします。

※当日の朝、お弁当予約販売有り

★ いずれかにチェック⇒ ⇒ ⇒ ①.令和7年9月18日(木) ・ ②.令和8年2月13日(金)

“建築士会 技術講習会” 申込書

記入必須	氏 名		支 部 名		※建築士会のCPD登録者のみ記入(11ケタ)
	生年月日	西暦 年 月 日	建築士会 CPD番号		
	電話(携帯可)	— —	F A X	— —	
	会 社 名 (建築士事務所の方は登録名)		建築士 登録番号	<input type="checkbox"/> 一級 <input type="checkbox"/> 二級 <input type="checkbox"/> 木造 第 号	
	建築士事務所番号	A・B・C 第 号	二・木取得県	都 道 府 県	
受講料：士会員 <input type="checkbox"/> 12,000円 <input type="checkbox"/> 非会員15,000円 【納入予定日： 年 月 日】					

※FAXの無い方、および受講券を郵送もしくはメールで希望の方は、ご記入ください。

・住所

・メールアドレス

『 LIXIL 「bathtope (バストーブ)」 の話を聞く 』

2024年11月に販売された 新商品 bathtope(バストーブ)。
存在を知った時、そのユニークな発想に思わず笑い、
同時に「どのような仕組みなのか?」「風呂キャンセル界限とやらにうけるのか?」と、
次々に興味が湧いてまいりました。
驚きと好奇心を呼び起こすこの商品を、皆さまとともにじっくりと知ってみたいくなり、
今回のセミナーを企画いたしました。
わくわくセミナーの為に bathtope 本体を LIXIL つくば SR に設置して下さるとのことで楽しみです。



日時 : 令和7年9月25日(木曜日) 午後7時~9時頃
会場 : LIXIL つくばショールーム 会議室
住所 つくば市研究学園5-20-7
電話 0570-783-452
講師 : (株)LIXIL 生稻 修 氏 他
会費 : 無 料 (会員外 ¥1,000/人) 飲み物付

*参加申込みは、下記へFAX又はメールにて9月22日(月)迄にお願いします。
申込先 (一社)茨城県建築士会事務局 (TEL 029-305-0329)
FAX 029-305-0330 E-mail kyy05413@nifty.com

9月25日(木)のわくわくセミナーに**参加** します。

支部名 () 支 部 氏 名 _____

当日の連絡先(携帯電話) _____

★キャンセルされる方は事前にご連絡をお願いします。

茨城の

うるし

を知ろう！



令和7年度 女性委員会単独事業

一社) 茨城県建築士会
女性委員会 委員長 大谷美由紀
担当 梶ひろみ 齋田久恵

～奥久慈漆見学と漆塗り体験～

樹から塗りまで茨城のうるしの世界を深掘りする勉強会です。
漆畑の見学では、実際に漆を掻いているところを見学出来ます。
塗り体験では地元作家さんの小皿とお箸の木地に自分たちでうるしを施します。憧れのうるしを先ずは身近な日常づかいの食器から。貴重な体験とともに、きっと宝物になること間違いなしです！奥久慈漆の第一人者である神長正則先生にご指導いただきます。



日時：令和7年10月5日（日）10時～15時（雨天決行）

（AM 漆畑・漆掻き見学・講義 ～ 昼食・休憩 ～ PM 漆塗り体験）

会場：常陸大宮市梶畑集会所（常陸大宮市家和楽 622）漆畑

講師：奥久慈漆生産組合前組合長 神長正則氏

参加費：会員 4000 円 非会員 5000 円（材料代・昼食弁当代含む）

（ワークショップでは小皿1枚 箸2膳 拭き漆体験の予定です）

定員：先着 25 名

※注意事項

1. 参加申込みの方には別途、服装やご準備など注意事項をお知らせ致します。各自対策をしていただき、十分にご留意の上で参加ください。
2. 材料の都合がございますので、申込後のキャンセルはお早めをお願いします。



お申込先 FAX 029-305-0330 E-mail: ibashikai0329@nifty.com

茨城県建築士会事務局 行

お申込みは FAX またはメールにて **9月26日（金）** までをお願いします

■支部名

■お名前

■当日の緊急連絡先（携帯番号）

■メールアドレス

地図、持ち物など詳細は参加申し込みの方に別途メールにてお送りいたします。

建設 フェスタ 2025

みて! 触って! 体験して!

令和7年 **10月4日** 土
9:00 ▶ 15:30 小雨決行
笠松運動公園 アクセスマップ
山新スイミングアリーナ前特設会場



この事業は（一社）関東地域づくり協会の助成を受けて実施しています。



珍しい働く
のりものが
見られる!



事前申込制 (抽選)

消波ブロックを作ろう!
※小学4~6年生対象



当日整理券配布

シミュレータで
機械を動かそう!





いばらきの発展のための「道路」や「港」、みんなの生活をまもる「川」「下水道」「公園」などをご紹介します。

- 国土交通省関東地方整備局
 - 常陸河川国道事務所
 - 霞ヶ浦河川事務所
 - 霞ヶ浦導水工事事務所
 - 下館河川事務所
 - 国営常陸海浜公園事務所
 - 鹿島港湾・空港整備事務所
- 茨城県土木部
 - 土木おもしろ体験
 - ヤギさん除草隊ブース

建設フェスタは、茨城県内の公共団体や建設産業に関連する各種団体が一体となって、県民の暮らしや経済活動に不可欠な社会資本整備の重要性と建設産業の魅力を広く県民に伝えることを目的に開催するイベントです。

- 建設機械と記念撮影
- 高所作業車体験
- ミキサー車展示
- アスファルトフィニッシャー展示
- パトロールカーと記念撮影
- 高速道路維持作業車乗車体験
- 大型重機の展示
- 解体工事の重機展示 など

- 親子競演丸太切り
- 緊急物資輸送ゲーム
- 土のう目方でDON!
- 建設作業体験リレー
- スコップでピング
- ディスクゴルフ体験ゲーム
- クイズラリー（賞品あり）
- 砂山の宝さがし など

- 花苗・苗木の配布
- 茨城県赤十字血液センター・献血
- 骨髄バンクドナー登録会・募金

- 消波ブロック作り
- 測量体験
- 自然災害体験
- ジオラマ作成
- 水道水とミネラルウォーターとの飲み比べ
- 先端技術体験（各種シミュレータ）
- 子ども向けコンクリート工作 など

お問い合わせはお気軽に下記の電話番号まで！

(一社)茨城県建設業協会
029-221-5126

イベント前日・当日のお問合せ先
070-1185-6164

消波ブロック体験のお問い合わせ先
※10月4日当日のみ対応
080-9453-5552

主催・後援・協力会社



[トップページ](#)

[アクセスマップ](#)

[過去の実施内容](#)

[2018年](#)

[2019年](#)

[構成団体](#)

建築士賠償責任保険(けんばい)の

勉強会

のご提案



日本建築士会連合会会員の皆様におかれましては、建築物の安全性を確保するために重要な役割を担う建築士として、日々適正な業務遂行のために力を注がれておられることと思います。一方で、品質管理をどんなに徹底しても、不測の事故が発生してしまう可能性を完全に排除することができないのも現状です。

このような事態に備え、会員の皆様のニーズに応えるべく1998年4月より「建築士賠償責任補償制度」を運営してまいりました。制度発足以来、6,500を超える建築士事務所(2022年4月時点)にご加入いただいております。

本補償制度は、建築士事務所の皆様の業務を支える上で重要な制度であると考えておりますが、保険という目に見えない商品であるがゆえに、「パンフレットを見ただけでは詳細まで理解できない」というようなお声を数多くいただきます。

そこで、本補償制度の理解を深めてもらう目的で、「建築士賠償責任保険(けんばい)の勉強会」を開催させていただきます。

けんばい未加入の事務所さま歓迎!

開催要領

- 各都道府県の建築士会もしくは支部単位での開催を想定しておりますので、勉強会をご希望の士会もしくは支部のご担当者様は下記連絡先にご連絡をお願いします。
- 勉強会の日程はご連絡をいただきましたら、調整させていただきますが、原則平日の9時～17時で開催させていただければと思います。
- 原則オンライン(ZOOMなど)形式で開催させていただきます。



勉強会の内容

- 建築士賠償責任補償制度のパンフレットなどを使用し、補償内容や事故事例などを解説いたします。

